

居室カルテ（カルテの見方）

■所要室の必要条件の整理

部屋名を記載

施設分類

用途（部屋の役割・目的）

「（仮称）滝沢村交流拠点複合施設の役割と方向性」の
「第7 複合施設の各室の役割」から抜粋

各部屋別の役割を記載！

寄せられた要望・意見等

ポストイット意見

発展意見等

平成22年9月に策定した「（仮称）滝沢村交流拠点複合施設の役割と方向性」をもとに
関係団体などに説明したときに寄せられた
要望・意見等を記載

**関係団体などからの寄せられた要望
・意見など！**

関係団体などから寄せられた要望・意見な
どをもとに、作業部会員が特に重要、必要
な項目をポストイットに抽出し、更にその内
容から発展意見、アイデアを付け加え膨ら
ませた内容

〔第1回ワークショップ〕

やりたいこと、知りたいこと、利用方法・され方〔やりたい・知りたいこと、いつ、どこで、だれが、なにを、どのようにするか〕、その他反対意見など

複合施設のテーマである学習（やりたいこと、知りたいこと、
利用方法・され方など）をテーマ・キーワードに作業部会員よ
り自由にだしてもらい、さらにファシリテーターが盛り上げな
がら、イメージを膨らませていく

**〔第2回ワークショップ〕
〔第3回ワークショップ〕
〔第4回ワークショップ〕**

+

これまでの内容から見てきたことなど

規模・機能・仕様など

他部屋との相関関係、イメージ図

関係する部屋

これまでの内容をもとに、大まかな機能、仕様の方向性や他の部屋と
の相関関係やイメージ図などを作成

〔これまでの内容から〕

■所要室の必要条件の整理

施設分類	学習・住民活動施設
用途（部屋の役割・目的）	
<p>■住民活動の窓口及び情報発信源 村民のいろいろなニーズ（余暇活動、健康づくり、福祉活動、地域づくり、国際交流、子育て支援、文化活動、児童健全育成、婦人活動、人権活動、ほか多数）に村が直接応えるには限りがあります。多くの場合これらの活動の受け入れ先は「いろいろな団体」が担います。このように住民のニーズの受け入れ先になる団体を支援していくのが市民活動支援センターです。 各団体では、PR、新規会員の加入、役員後継者、会運営、会の予算など同じような悩みを持っており、支援センターでは、相談のほか、講習会の開催、先進事例の紹介、会員同士の交流やこういった問題への専門家とのネットワーク作りで、問題解決を目指します。 もちろん、新たにNPOやサークルを立ち上げたいといった要望、何かを学びたい、何かのボランティアをしたいといった個人の相談にも応じ、村内の個人と団体の活動を促進し、元気な村づくりを目指します。他のいろいろな団体とも協力体制を作ります。</p> <p>■交流施設の運営拠点・情報発信拠点 掲示板は利用者と運営者を結び、また利用者同士を結ぶ重要なツールです。掲示板コーナーが活発に使われているかどうか、この施設が住民に使われているかどうかを表すバロメーターになるかもしれません。 掲示板コーナーの近くには窓口があり、人（コーディネーター）が常駐していることも重要です。</p> <p>■休養室・救護室 施設内には、畳敷き和室を設置する予定ではありますが、これは、貸し部屋としての位置付けであるため、これとは別に、保健室的な機能を有する部屋や宿直室のようなものとして、休養室・救護室（畳敷き）のような部屋も、事務室に付随するものとして必要かもしれません。</p>	

寄せられた要望・意見等	ポストイット意見	発展意見等
<p>■市民活動支援センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入りやすさなど気軽に利用できる、活動の手助けとなるような施設にしてほしい。 ・サークルなどの情報を掲示板やパソコンを利用して気軽に得ることができるようにしてほしい。 ・インキュベート機能（新たな組織が育つ）の窓口となることを期待する。 ・協働を行う人たちのネットワーク機能の中心としてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設目的からインキュベート（新たな団体や仕組みを巣立たせる）機能は必須 ・地域活動をする団体が使いやすいように（ロッカー、コピー機、印刷機あること。) ・電話、机、LAN ・小さい部屋（ちょっとしたおしゃれなイス） ・多様なニーズに対応可能なもの ・気軽さ。協働的。ネットワークの中心。インキュベート（新たなものが育つ）機能。 ・入りやすく気軽に利用できる。活動の手助けとなる施設。 	<ul style="list-style-type: none"> →交流スペースを広く取ることで、又は充実されることで、個部屋を設けるのではなく、フリーに活用ができ、稼働率もあがるし、使い勝手もよくなる。 →交流スペース内にショールームのような区画を設けることにより、賑わい、交流がみえてくるのでは。個部屋はあえて必要ないのでは？
<p>■事務室、情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際交流の基点となるような機能が欲しい。 ・掲示板を設置してほしい。 ・農業情報発信拠点がほしい。 ・観光案内所がほしい。 ・生産者と消費者の交流の場が欲しい。 ・特産品販売所がほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業情報発信 ・情報掲示板 ・イベント情報を掲示板やパソコンで周知する ・特産品の販売所 ・観光案内所 ・村近隣の観光客にお金を落としてもらえようようにしたい ・入りやすい観光案内所・物産販売所 ・国際交流の拠点 ・個人対応型の避難所機能 ・販売スペースは、生きがい作りにもなるので必要。 	<ul style="list-style-type: none"> →さくらホールの情報掲示板のような、ローカルな話題（発表会がある、猫の飼い主を探している等）も扱えるようなものがほしい。 →受け取る側によって内容に対する意識が違うため話題を広げすぎると管理するのが難しい。 →いつでも村の特産品を購入したり、観光や地域情報を入手できる機能が必要。 →観光案内所や特産品の販売所を役場が兼ねているのが現状なので、作ってほしい。

やりたいこと、知りたいこと、利用方法・され方〔やりたい・知りたいこと、いつ、どこで、だれが、なにを、どのようにするか〕、その他反対意見など

<p>■位置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来客者がメインゲートから入って目に付きやすい場所。 ・事務室から来客者が入ってきたの見えること。 ・メインゲート以外を設ける場合は、別ゲートから入った来客者が各諸室に行く前に事務室からの視線に入ることが望ましい。 	<p>備考（ふるさと交流館の事例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・階段が事務員席から見えて良い。 →ゲートボール場側の出入口からも窓越しに進入者が見えて良い。 ・休憩スペース（現：キッズルーム）も見える広角窓の配置で便利。 	
<p>■人数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人数の考え方としては、昼間のみと夜間が入る場合で違う。夜間が入る場合は、昼間のみの1.5倍の広さが必要（通常のローテーションの場合）。 	<p>備考（他施設事例）</p> <ul style="list-style-type: none"> →もりおか市民活動センター（4人） ・ふるさと交流館（9人） ・NPO活動交流センター（アイーナ6F）（8人） 	
<p>■情報が行きかう場</p> <p>〇〇募集中！〇〇できます！ など・・・ 「〇〇は貼ってダメ！」ということは、無くす！ ローカルな情報、バンド情報などいい！ 「人」とセット。コーディネーターのような人がいて、その場で「掲示板を見たんだけど・・・」と相談できる。</p>		<p>複合施設で行う喫茶コーナーについては、福祉団体などの働く場の一環として喫茶提供するという考えが良い。この部分のみでの集客は期待できるものではなく、社会福祉の貢献をということが重要である。</p>
<p>■事務室って名前じゃなくても・・・</p> <p>気軽さ、軽快さなどから事務室という堅苦しい名前から、例えば、「サービスセンター」とかもいいかも？</p>	<p>→人は重要である。 ・人は館内の安全の見極めにも重要である。 ・喫茶との相性はどうかだろうか？</p>	
<p>■開放的な空間として</p> <p>事務室というと閉鎖的な空間がイメージされ、通常、完全個室型の部屋となっている。複合施設の趣旨から「交流」を促進するものであるため、大きな空間の中の一室が事務室というような創りもあるかもしれない。 （壁を天井まで区切るのではなく、腰壁程度とか、掲示板が壁の代わりとか）</p>		<p>《観光案内所の機能》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光案内所として複合施設内に配置することについては、隣接して設置予定である産業雇用創造センター内に専門職員、情報、産直販売、レストラン、加工場などを集中的、専門的に管理配置し、複合施設ときちんと機能分担した方が、逆に利用する側、主催者（管理者）側にとっても分かりやすいし、やり易い。（サービスの向上に繋がる） ・だからといって、複合施設内で何もしないのではなく、パンフレット、ポスターなどの掲示程度は行し、内容によっては、複合施設をサテライト的に活用する。このように、主体（母体）部分を、明確にしていく管理運営方法が望ましい。

居室カルテ（市民活動支援センター・事務室・情報発信）

規模・機能・仕様など	他部屋との相関関係、イメージ図	関係する部屋
<p>■機能</p> <ul style="list-style-type: none"> 貸室機能 相談者対応機能 講座開設機能 会議開催機能 PR機能(本日のイベント案内など) <p>■事務室内容(主なもの)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務員10名(片袖机) 受付カウンター 打合せテーブル、作業テーブル コピー機、書庫、書棚、金庫、その他(更衣室、ロッカーなど) <p>■講師控室/応接室/打合室</p> <ul style="list-style-type: none"> 講師の待機場所、講師との打合せ 事務局打合せスペース 応接 <p>■情報発信室/掲示板</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務室近くが望ましい。 掲示スペース① パンフレットスタンド 掲示スペース② 掲示板(自立式、壁面利用、垂れ幕式など) 掲示スペース③ 団体情報設置書架 	<p>他部屋との相関関係、イメージ図</p>	<ul style="list-style-type: none"> 交流スペース 相談室 喫茶コーナー(休憩コーナー)

居室カルテ（会議室・活動室）

■所要室の必要条件の整理

施設分類	学習・住民活動施設
用途（部屋の役割・目的）	
幅広いニーズの住民活動の場	
<p>会議室は、各団体の活動拠点であり、活動単位です。ここで各団体の会議、学習、活動が行われます。各市民活動団体等にとっては、部屋を予約できるかどうか、活動ができるかどうかは直結する最優先事項となり、部屋の数と大きさには注意を払う必要があります。各団体の活動は10人以下の少人数であることも多く、大きい部屋を可動間仕切りで区切って使用しているものの、音漏れや落ち着き感がない部屋など必ずしも、利用者にとって、大は小を兼ねるという訳ではありません。</p>	

寄せられた要望・意見等	ポストイット意見	発展意見等
<ul style="list-style-type: none"> 可動間仕切りにより大・中・小と多角的に使える様にしてほしい。 ボランティアの拠点や健康づくり支援者、ファミリーサポートの会場として多様なニーズに対応可能なものにしてほしい。 10人くらいの少人数で利用しやすいようにしてほしい。 	<p>多様なイベント、ニーズに対応できる施設</p> <p>教室・会議等人数に対応しやすい</p> <p>可動間仕切り可能。可動間仕切り大・中・小。施設、会議室の有効利用。全体の大きさや人と人の距離を変えられる。</p>	<p>→逆に間仕切りがあることにより、遮音性が劣るため、利用者からは、あまり評判がよくない。</p> <p>→多様な利用と言われるが、利用者は、だいたい10数名の利用者が最も多い。よって、最大でも20名ぐらい収容可能な部屋が多く配置されることが必要。</p> <p>→公民館にもあるが使いにくい（移動しにくい）音が伝わりやすいため同時利用もしにくい。遮音性が高いものを採用すればいいと思うが、それだけコストアップしてしまう。少人数で使用することに割り切った間仕切りではなく可動壁で仕切ってしまおうのも一つの案ではないか。</p> <p>何でもできる部屋は使いにくいのでは。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 役場の委員会室のようなものをたくさん設けてほしい。 長期使用を考慮して、電話や机、LANの設備がほしい。 	<p>役場の委員会室みたいなもの少人数でも可。20人くらい。</p>	<p>→間仕切りは、音が漏れ使いにくいという場合あり。</p> <p>→手で動かす可動のものは壊れやすい。電動にしては⇒お金が掛かる</p> <p>個室は20人以下の利用の方が多い。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 参加しやすいように外からやっている様子が見えるようにしてほしい。 	<p>多世代可能なスペース。</p> <p>大・中・小と多角的に利用できる。外からやっている様子が見えるように。シンプルの方が使いやすい。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 音楽の練習もできる空間などもつくってほしい。 		

やりたいこと、知りたいこと、利用方法・され方〔やりたい・知りたいこと、いつ、どこで、だれが、なにを、どのようにするか〕、その他反対意見など

■さくらホールのように会議室に流しがあると良い。

・会議、打合せの利用のみの会議室というよりは、流しがあることで、

+α 趣味の部屋 の利用、用途が広がる。

会議という場から→活動の場へ（イメージがマッチしている!!!）

色々使える会議室（活動室）稼働率UP!

- ハーブ教室、習字、飲食可とするため、匂いが残らないように換気扇を十分に配置してほしい。
- トンボ玉の政策では、火を使う火を使ってもいいようにしてほしい。
- NHKの「シャベリバ」ならぬ「コウギバ」のように意見を発表する場を設けたい。
- 季節や祝日にかけてイベントを月1回開催！
正月、お雛様、端午の節句など、祝日には、その地域の風習・文化がある。定期的、あるいは、〇〇の日などと決めて、イベントを行うことは、習慣になり、人気を呼ぶのではないかな？
- 防音室（楽器演奏）
壁は穴が空いたボードで吸音するもの。
部屋は小さくてもよい。（同じ仲間であれば）数人同時に練習できる。
- 睦大学の昔語りや手品の発表の場がほしい。子供たちに聞かせたい。
- 最初からサークルに入るのは敷居が高い。敷居を低くする、気軽に参加し易い、ということと利用者数は関係してくるのではないかな？

色々使える、多目的であるために・・・

防音も重要
騒いだり、ダンス、ミュージックもできる。
壁に鏡があることも重要。

※防音室（ルーム）というよりは、各部屋が防音対応となっていれば利用用途が広がる。

これらを踏まえると・・・
パーティーは、面倒でなく、壊れにくい製品が決め手になる。また、あまりパーティーありきで頻繁に区切ったりすることを前提にしていくのではなく、ちょっとした工夫による利用幅の広がりを期待するもの。

部屋の組合せによる意見など

更にワークショップ

そのほか機能的なものなど

■極小部屋（～30m程度）、小部屋（30m～60m程度）

- ・サークル活動は、4～5人が多いため、小部屋を数多くしてほしい。
- ・空調、流し・給湯は、必要！
- ・応接を置いた講師控え室があるとよい。
- ・相談室としても利用可（静かに話しができる部屋）
- ・物を使用する（絵画、華道等）場合は、ちょっと大きく使う。
- ・ふるさと交流館の利用状況を見ても、時代と共に少人数化している。
- ・作る側からすると、小部屋は必要だと思いつつ、大きさが足りない非難を浴びる可能性があるため、「大は小を兼ねる」から大きくしてしまう。→勇気があることだが、ぜひ今回は小さい部屋を作成していただきたい。
- ・思い切って2～3人の小さな部屋もいいのではないかな？⇒逆にそういう人数は、交流スペースを利用していいのでは？
- ・建物の主たる構造はRC造としても、部屋の壁を軽量鉄骨にすれば、使いにくいときは、間取りを変えることができる。

■中部屋（60～90m程度）、大部屋（90m～程度）

- ・パーティーで区切って使えたら、より一層、使い勝手の幅が広がる。
- ・推進委員会などの出席は、70～80名であり、トータル100席は確保してほしい。（ふるさと交流館の学習室程度）
- ・自治会の総会などで使うので、ふるさと交流館の学習室のような大きな会議室は必要である。
- ・大きな部屋については、申請があれば、一人の利用でも貸している。（減免の有無にかかわらず）
- ・ピアノのある部屋（ふるさと交流館のコミュニティールーム）は、練習時一人で借りる人もいます。ホールもたまに一人で借りる人がいます。
- ・机の配置は、横に長くなりすぎると、端の方が見えなくなる。一方、後に長いと、後ろの方は、見づらかったり、聞こえ難かったりする。→役場の大会議室は、使い易い大きさである。

○パーティー

- ・パーティーは、使い方が悪いとすぐに壊れてしまう。
- ・引き出してきて、床と金具で連結するが、壊れやすい。
- ・面倒である。
- ・ワークショップの資料では、防音性能が上がるほど、厚く重くなるようなので、ますます面倒になるのではないかな？
- ・シャッタータイプのパーティーはどうか？
- ふるさと交流館では、料金体系もなく、区切って貸し出しはしていないとのこと。（舞台の控室としては区切って利用）

○床材

- ・防音的には、カーペットが音を吸収する。
- ・フローリングのメンテナンスは、表面を削って行う。
- ・直張りだと、クッション性がなく、冷たさも伝わってくるが、根太を入れると疲れなくなり、寒さも和らぐ。キッズルームなどは、この方法が良いのではないかな。素足でもOKである（直張りだと素足には、向かない（クッション性がない）
- ・絨毯は飲食物をこぼした時の対応が大変である。→タイルカーペットであれば、その部分だけを代えることができる。

居室カルテ（会議室・活動室）

規模・機能・仕様など	他部屋との相関関係、イメージ図	関係する部屋
<ul style="list-style-type: none"> ■騒いだり、ダンス、ミュージックもできるような防音性のある部屋。 ■食べたり、飲んだりできるよう飲食可。匂い対策として十分な換気扇を！ ■会議室に流し（IH対応）があると、利用用途が広がる。 ■トンボ玉などある程度、火を使ってもいいように！ ■部屋が見えるということも大事！（時にはブラインドで目隠しも） ■小さい会議室が多数あるなら、その内の1つと2つを可動式畳など敷ける部屋があってもいいかも ■部屋が見える＝ガラス張りであるが、すべて同じ形ではなく、1面のみ、2面のみとか色々なパターンがあると好きな部屋を選べる。（逆にあまり見えない部屋を使いたい場合もある。相談時とか） ■相談室としても利用できるように！ 防音性、部屋は密室まではいかないが、ある程度閉鎖的に（例：1面及びドアのみガラス使用、そのほかは壁） 	<p>■これまでの概念にある会議室というよりは、時には、ダンス、パーティー、趣味の教室など多機能なもの＝活動室が求められている。</p> <div style="text-align: center;"> </div>	<p>■他施設事例（平面、写真、所要室の大きさ） ・役場庁舎、公民館、ふるさと交流館、さくらホール、リアスホール</p>

居室カルテ（和室）

■所要室の必要条件の整理

施設分類	学習・住民活動施設
用途（部屋の役割・目的）	畳の空間を活かした文化活動の場
<p>和室は日本固有の部屋であり、日本舞踊、茶道、華道など日本古来の文化活動を行うのに適しています。一方、弾力性があることや靴を脱ぐということから、乳幼児などが座ったりハイハイをしたりしても安心であり清潔です。また、災害時の緊急避難所として考えると体育館や学校の教室などに比較して居住性が高いといえ、平常時でも具合が悪くした方の臨時休養室としても使えます。このほか収容人数を洋室より多めに取れる（イスなどを使わないため）といったメリットもあり、一定程度の和室を設けることで重宝します。一方、高齢者は膝への負担のから、畳に直に座るよりもイスを好む傾向があるようです。</p>	

寄せられた要望・意見等	ポストイット意見	発展意見等
<ul style="list-style-type: none"> ・日本文化の再認識する行事に不可欠なので計画してほしい。 ・踊りなどで畳が痛むことを考慮してほしい。 ・災害支援時の拠点の一つとなるようにしてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所開設対応するため和室があると良い。 ・災害拠点 ・畳の有効性 ・畳の部屋は何にでも使えるので使いやすい。 	<p>→お年寄りやイスの方が楽であり、日本舞踊も板間の方が良いようであり、和室は管理も大変であり、専用和室は必要ないのではないか。群馬かどこかに床が引き出し式で出てくる施設もあると聞く。災害時は必要であると思うが、いつも災害があるわけではないので、重要ポイントとすることもないと思う。</p> <p>→和室は、利用率も低く、会議室が埋まっていたり、和室が空いているとき、和室を紹介しても、椅子での利用が望まれるため、利用されない。</p> <p>→お茶会では和室を利用するため、これまでの集会所のような和室ではなく、小さめの和室で十分と思う。普段は板間にしておき、必要なときに畳を敷けるような仕組みを採用するのがいいのでは。（ただ収納しておくだけではカビが生えて使えなくなってしまう。）フレキシブルに使えるという面がある。</p>

やりたいこと、知りたいこと、利用方法・され方〔やりたい・知りたいこと、いつ、どこで、だれが、なにを、どのようにするか〕、その他反対意見など

主な利用

- 着付け、踊りで利用されている。
- 乳児検診では利用する。→乳児検診では、別に待合室とかあると良い乳児のため、歩くことができないので、ハイハイ、ゴロゴロできるような部屋(床材)が必要！
イコール **大広間** → **小ホール?**
- 和室でなければいけないことはない！
クッション、マット、コルク床などで対応できる部屋があれば良い！
- 高齢者が活動する部屋
・高齢者の活動では、一つの講座の参加者の半分が和室への直座りを望み、半分がイスを望むので、和室の一角に絨毯を敷いて一緒に活動している。

もう少し具体的に話を聞きたいね！

やはり和室での会議は、お年寄りにつらい。和室でもイスに座って利用している。 → 会議室の充実(部屋数)

その他、利用実態は？ → 他の部屋でOK? (部屋数、機能の充実、多用途可能!)

日本人として・・・

- 日本人として和室がないとちょっと寂しい。
- 小さめの和室でいいので必要！
- 和室の良さとして、くつろげる、横になれる。温泉にあるような風呂上りにくつろげる、横になれるところはいいかも

和室って安らぐよネ・・・♪

部屋としての位置付けの他に、交流スペースの一角にくつろげるような和室スペースがあってもいいかも・・・(小上がりで、ちょっと目隠しされているスペースとか)

避難所として和室は重要！

でも・・・

- 逆に和室から洋室への発想は？
- 和室は、畳の管理が大変！
- 可動式畳は、(動くなど)安全性に不安はないか？

■特徴

- ・暖かい(ホールなどでは、暖房をしてもちょっと寒い)
- ・災害時には、必要となる部屋である。
- ・チャグチャグ馬コの装飾の修繕では、材料(布、麻紐、鈴など)を広げられる和室がよい。(いつも公民館和室を利用している。)
- ・舞踊は、ふるさと交流館や公民館和室で行っている。→舞台練習で使っている人からは、本番は、ステージで板張りなので、練習も同じ環境で行いたいという声もある。
- ・生け花、茶道では、和室が必要。
- ・軽運動には、和室は適している。(クッション、座れる、寝転がれるなど)
- ・検診時は、公民館の和室を全面使うし、他の会議室も併せて使っている。
- ・公民館と老人福祉センターに和室はそれぞれ有り、例えば両方を一括管理すれば、実は、公民館分は無くても間に合っているのではないかな？
- ・ふるさと交流館の和室では、大ホール利用時の着替えでも使われる。
- ・地域の懇談会などは、イスより畳の方が良い。それほど大人数でなく、頻度も少ないので、大広間でなくてもよい。
- ・会議は、机とイスの方がよい。
- ・高齢者にとって、畳に座ったり、立ったりする動作は無理である。
- ・勤労青少年ホームの和室に水屋があるが、使っていない。床の間や雪見障子も不要である。
- ・公民館和室は、検診では少し小さい。

■土足ではないフロア

- ・乳児・幼児の検診を行っており、清潔なフロア(素足可)、広いスペースが必要である。
- ・和室でも、そうでなくてもいいものとしては、ヨガやジャズダンスがある。これらは、もともと畳では合わない。かと言って、会議室で行うとなると、机やイスが邪魔で移動に手間がかかる。
- ・老人福祉センターでは、畳にカーペットを敷いている。机やイスも出せる。
→ 畳でなくても・・・
- ・カーペットは清掃が大変である。清掃コストも高い。

■大きさ

老人福祉センターは、1階60畳、2階40畳であるが、検診を行うのであれば、40畳は最低でも必要(2階の和室は全て使っている)

■その他

- ・北上市は、保健センターもあるので、さくらホールなどでは検診などに対する配慮はない。
- ・他の部屋の使い方もそうであるが、検診専用の建物があれば(検診用途が消え)複合施設の部屋のあり方も変わるのではないかな？

■休憩コーナーとして

- ・小上がりの発想は非常に良い。
- ・高齢者は、ちょっと横になりたい。ちょっと足を伸ばしたい。という時があるので、こういった場合は必要！

その他発展意見など

- ・畳の部屋は、茶道などの場合、正座をして集中する。こういう経験は、日常生活では、ほとんどなくなっている。座った場合の視線なども重要である。
- ・盛岡市の中央公民館なども一般に開放しなくなっており、茶道等ができる和室というのは、貴重になってきている。
- ・盛岡市の南昌荘やノ倉邸では、日本建物の良さを活かし、色々な活動や展示会に使われている。(岩手山麓工芸会関連の展示会なども行われている。)
- ・上田邸を複合施設の隣に移築すれば、そこで体験をしたり、資料館的な活用もでき、茶道等も行える。特産品との相性も良いのではないかな？
- さらに、柳沢の吉岡邸も現在は民間のものであるが、交渉して2軒が並べば、観光的な価値も高まると思われるし、チャグチャグ馬コとの相性も抜群と思われる。

方向性

既存施設との棲み分けを考慮し、大広間は既存施設を活用し、複合施設においては、小部屋(小さな和室)として計画する。
また、健康診断などは、大会議室、小ホール、大ホールなどのフロアを活用し、そのときどきの利用目的、状況に応じて利用する。

居室カルテ（和室）

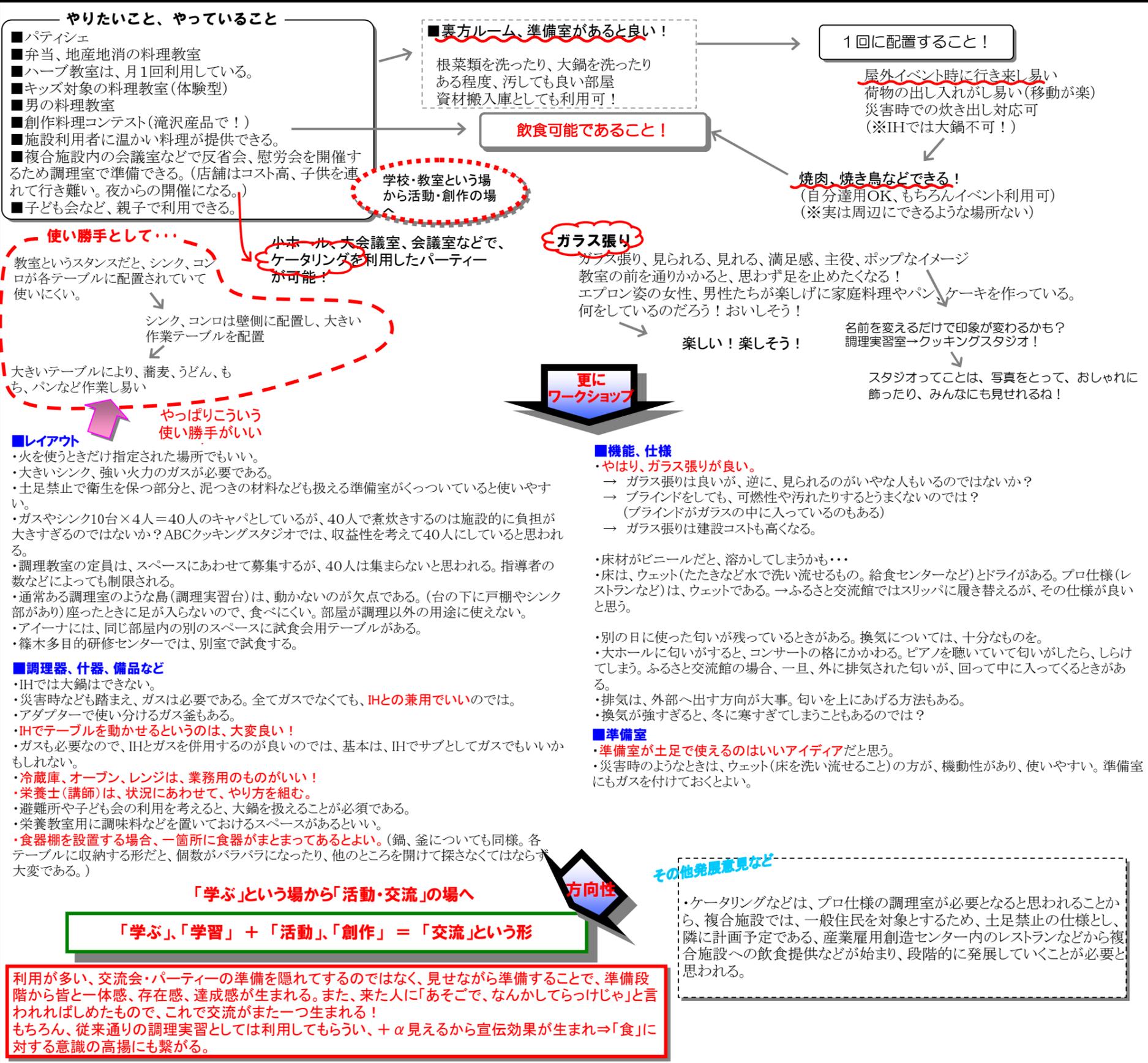
規模・機能・仕様など	他部屋との相関関係、イメージ図	関係する部屋
<p>■ 老人福祉センター和室60畳ほど(約100㎡) 乳児検診時、ちょっと小さい。</p> <p>■ 小さな和室 16畳くらい お茶会、ちょっとしたごろ寝、休憩室 ↓ 着付けができるように和室は必要！</p> <p>■ 宴会可能！</p> <p>■ 鏡、炉</p>	<p>小ホールや大会議室などでもクッション性がある床であればOK</p> <p>フリーに使える和室</p> <p>交流スペースの一角に！ 交流スペース</p>	<p>[和室] ・ 交流スペース ・ 調理実習室</p>

居室カルテ（調理実習室）

■所要室の必要条件の整理

施設分類	学習・住民活動施設	
用途（部屋の役割・目的）		
調理機能を有する食文化の活動の場		
<p>食の安全や地産地消に対する関心が高まっています。地球環境の悪化や残留農薬の問題など輸入農産物への不安が高まり、国内農産物、生産者の顔が見える農産物を求める消費者が増えてきました。一方、生活習慣病が増加し、ファストフード店の多い現代、食育などへの関心も高まっています。調理室では、健康に寄与する料理、村内の食材を使った料理、機能的な料理、郷土料理などいろいろなものが市民活動団体の活動や各機関の講座などで行われることが期待できます。</p> <p>また、調理室では試食、介護食、配食サービスなどの研究、イベントや会合での調理や農産加工食品の試作など、あらゆる展開が可能です。調理室は、収容人数、火力、調度類など機能性が求められますので、利用者や講師などの意見を設計に反映させることも重要です。</p> <p>滝沢村には農業研究機関、栄養科学部を持つ大学、全国に知名度のある民間農場があり、食をテーマにした学習や交流も大いにありうるでしょう。また発信機能を活用して、特産品の新製品の発表会、農産物の品評会、料理コンテストなども有効と思われます。</p>		
寄せられた要望・意見等	ポストイット意見	発展意見等
<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝承料理や地産地消の教育を伝えるためにも必要であるため計画してほしい。 ・ 調理台は指導者用1台と受講用に6台程度設置してほしい。 ・ 給湯設備がしっかりしているものを設置してほしい。 ・ 調理器具等はガス設備で計画してほしい。 ・ 調理室と講話の部屋が近くなるようにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調理実習室は必要である。 ・ 伝統料理や地産地消への配慮した調理室 ・ 人口規模から他施設のは小さい（人数が入らない） ・ しっかりとした給湯設備 ・ 給湯設備は壊れにくく、使いやすいものが欲しい ・ 調理室と講話室に近い（調理したものを食べながら交流・学習） ・ 調理実習室と和室とのコンビネーション。災害時を意識して。 ・ 伝統料理、地産地消。調理室と講話の部屋⇒部屋のつながりは多様性 	<ul style="list-style-type: none"> →調理実習だけでなく、イベント時の下ごしらえや災害時の炊き出しなどにも対応出来る調理室が必要。 →加工所としても活用できる設備を備える。農業センターとも連携してほしい →ガスと電気 →調理室か実習室か

やりたいこと、知りたいこと、利用方法・され方〔やりたい・知りたいこと、いつ、どこで、だれが、なにを、どのようにするか〕、その他反対意見など



居室カルテ（調理実習室）

規模・機能・仕様など	他部屋との相関関係、イメージ図	関係する部屋
<ul style="list-style-type: none"> ■ガラス張りで外からも見えるように！ ロールカーテンなどで目隠しできる工夫も必要！ ■ポップな雰囲気、カラー配色など ■複合施設内で行うパーティーなどで、調理室を使って料理できるように ■災害時での炊き出し→ガス ■1階に配置 ■裏方ルーム、準備室 ■調理実習台は、固定とするのではなく、作業テーブル（移動可）を配置し、周囲にキッチン（シンク、コンロなど）を配置する。また、作業テーブルでは、必要に応じて卓上IHでの調理を行えることとする。 ■IHとガスの兼用 作業台には、卓上IHで作業を行い、壁側のコンロは、ビルトインのIHとガスコンロを配置。 ■クッキングスタジオは、土足禁止。準備室は、土足。準備室には、大鍋対応可能なガス、大きなシンク、地流し。 ■十分な換気を！ 	<p style="text-align: center;">ケータリングや皆で調理し、各部屋でパーティーや懇談会など、イベント時の仕出準備として、もちろん料理教室としても！</p>	

居室カルテ（創作室）

■所要室の必要条件の整理

施設分類	学習・住民活動施設
用途（部屋の役割・目的）	
<p>創作活動の場</p> <p>滝沢村の柳沢地区を中心に、陶器、磁器、漆器、木工家具、ガラス工芸など工芸家が数多く工房を構え、多くのファンを持っています。ギャラリーなどでは、これらの作品展もぜひ行いたいものであり常設展などもあるかもしれません。一方で、中高齢者を中心に工芸を行ってみたいという潜在需要は多いと思われ、市民活動団体での活動や講座等も期待されます。</p>	

寄せられた要望・意見等	ポストイット意見	発展意見等
<ul style="list-style-type: none"> 汚してもきれいになるように工夫されたものにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 汚してもきれいになると使いやすい。 	<p>→既存の創作室は、ほとんど利用されていないので、複合施設には必要ないのではないか。逆に創作室が必要とするのならば、既存施設のリニューアルで対応した方がよいのでは？</p> <p>創作室と言わなくても、板間などにシートを敷くなどして、工夫して使っている様子もある。</p>

やりたいこと、知りたいこと、利用方法・され方〔やりたい・知りたいこと、いつ、どこで、だれが、なにを、どのようにするか〕、その他反対意見など

創作室は無くても・・・

- 従来からイメージのある創作室、工作室は、
 - 大きな音のでる作業、ものすごく汚れたりする作業、利用はほとんどない。
 - 趣味の教室程度の利用であり、大掛かりな作業はない。

よって、創作室、工作室としては、必ずしも必要とは思わない！
会議室の中で出た意見（活動室として利用）を踏まえれば、会議室での利用でOK

趣味の活動であれば、創作室というよりは、会議室を機能的に充実させれば足りる。
どうしても創作室、工作室が必要と言うのであれば、既存施設のリフォーム時に対応することも可能ではないか？

調理実習室での意

- 裏方ルーム、準備室があると良い！
根菜類を洗ったり、大鍋を洗ったりある程度、汚しても良い部屋
資材搬入庫としても利用可！

調理実習室では、準備室が必要という話が出ていた！

創作室として捉えるのではなく、準備室として兼用すれば、利用用途が広がる！！

創作室があると・・・

- 家庭農園
農作物の育て方、無農薬野菜、連作障害の知識など
- 花の育て方、ハンギングバスケット
- ペットの飼い方相談
- 簡単日曜大工

- ・せっかく滝沢村という自然条件のいいところや、家庭菜園のできるところに居ても、やり方を知らずに損をしているところがある。
- ・農作物講習などでは、食べることもつながり、アイデアが膨らむ！（調理室を使ってハーブなども育てること、食べることは、親子向きでもある。
- ・花を育てて、被災地へ提供する。→繋がり、交流が生まれる。
- ・場所（部屋）については、屋根がかかっているならば、必ずしも屋内でなくても。屋内の場合は、汚れてもきれいにし易い部屋。
- ・ペットについては、獣医に行くまでもないが、というもの。
- ・創作室の机やイスは、がっちりしたものが多くと思うが、移動できるものでないと、使いにくいのでは？作業テーブルは必需品である。
- ・防音対策は必要。
- ・木のネームプレート（木工教室）では、木を使った子どもを対象とした工作は、青年交流の家や八幡平市の施設でも人気がある。机は傷ついても気にしないものが必要である。外と繋がっている部屋だと清掃はし易いが、屋根がかかっているならば、外でも良い！

規模・機能・仕様など	他部屋との相関関係、イメージ図	関係する部屋
<ul style="list-style-type: none"> ■汚れてもよいような床（丸洗いでできればなお可） ■防音性 ■作業テーブルは必需品（汚してもよいようなもの） コンパネテーブルなど ■換気扇（匂い対策） ■洗い場（大きなシンク） ■1階に配置 ■資材搬入し易いように 	<p>■創作、工作室というよりは、会議室の機能の充実で足りる。 趣味の教室程度であれば、会議室を利用。 →会議室の部屋数を十分に確保する。 （機能も充実、シンク等配置）</p> <p>例えば・・・ Step1: 苗などの準備 Step2: 菜園、栽培 Step3: 収穫 Step4: 試食会</p>	

居室カルテ（キッズルーム）

■所要室の必要条件の整理

施設分類	保健・福祉施設	
用途（部屋の役割・目的）		
<p>乳幼児のための場</p> <p>盛岡広域には、屋内で子供と遊ぶ施設が少ないです。いわてこどもの森のような施設とまではいきませんが、こども達が、気軽に安心して、遊ばせることができる施設があることは、本施設のキーワードにある「交流」にベストマッチするものです。特に夏の暑い日と冬は切実に子連れでいられる場所があれば、子供たちは安心して遊ぶことができ、キッズルームを通じて親同士も交流が図られるキッカケの場になるかもしれません。また、ここを皮切りに、料理教室、工作など、次なる交流の広がりや溢れているのではないのでしょうか？</p>		
寄せられた要望・意見等	ポストイット意見	発展意見等
<ul style="list-style-type: none"> ・大きい子用と小さい子用で遊び場が分けられているような配慮がほしい。 ・安全のために段差は少なくしてほしい。 ・飲食が気兼ねなくできるようにしてほしい。 ・夏の暑い時や雪・雨天時に親子で過ごせる場所がほしい。子ども用の公園が少ない。子どもを遊ばせる施設がほしい。 ・寝転がれるスペースがほしい。 ・大きな遊具が置けるように面積が必要。 ・子供だけで待たせられるように管理の目があるようにしてほしい。 ・高齢者が一緒に遊んでくれるところがほしい。 ・畳やコルク張りなど子供が靴を脱いで遊ぶことができるスペースにしてほしい。 ・村内企業による木工おもちゃなどを活かした遊び場にしてほしい。 ・相談者や各室利用者の子供を預かれるような託児機能が欲しい。 ・村内に4箇所ある子育て支援センターはキッズルームの参考になるのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食が気兼ねなくできる ・キッズルームが広くて飲食できると、若い人たちが集まりやすい。 ・乳幼児に配慮する。段差をなくす。怪我をしないように。転ばないように。 ・村内企業によるおもちゃを活かした遊び場。 ・授乳・おむつ交換ができる部屋 ・育児の相談ができる ・託児機能がほしい ・子供が靴を脱いで遊ぶところ ・バリアフリー、ユニバーサルデザイン ・キッズルームを利用するルールの検討が必要 ・親子交流、高齢者との交流が図れること。（親子、世代間交流） ・全天候OK、子供の安全。 ・安全性が重要。 ・大きい子と小さい子の関係。 ・落雪の心配のない場所。 ・託児所として管理するのか、親子が自由に過ごしやすいようにするのか。 	<ul style="list-style-type: none"> →和室も含めてだが、畳やカーペットを汚すとその後の処理が大変である。（下手するとカーペットは全部張替え）少し厚めのマット等を利用し、汚れた部分を取り外しできるようにしたらどうか。 →日常的になる工夫。 →汁物OKなど自由度高く。 →ファミリーサポートはニーズがあるので機能として入れてほしい。 託児機能を付けるかどうかははっきり線引きをするべき。付けるのであれば管理する人が必要。 交流拠点施設利用者のための機能なのか、一般の人たちが仕事に出るためのものなのか、はっきりと決める必要がある。 →うまく考えないと、子供を置いて遊びに行くなど、ただただ使われる危険性もあるのではないかと。 託児所とするのか、親が子供を見て遊ぶ部屋にするのか？位置付けやルールを決めていく必要がある。

やりたいこと、知りたいこと、利用方法・され方〔やりたい・知りたいこと、いつ、どこで、だれが、なにを、どのようにするか〕、その他反対意見など

キッズルームとは別に託児施設があれば・・・

- アイーナでは、ファミリーサポートセンターがある。
- ・料金制、予約制、登録制であり、子供の置き去りを防ぐ！
- ・各種ファミサポ主体のイベント実施
- ・育児相談も行っている。

飲食可能であること！

- ・子供が騒ぐことは仕方がない。
- ・どう、レイアウトや部屋のつくりなどで子供の行動をコントロールするか？

管理運営も含めた検討事項

- ・託児所としていくのか？
- ・親子が自由に過ごしやすいようにするのか？（子どもの森みたいな感じ）
- ・これ以外（上記両方兼ね備えるのか？など）

具体的にどういった方向が更にワーキング！

遊ぶ空間

■利用形態について

- ・学校帰りの子どもが使ってもいい。
- ・ふるさと交流館では、1階の事務室から見えるところだけを子供用にしている。
- ・遊具はほしい。他の事例で規模300㎡は、大きすぎると思う。
- ・一方、遊ぶ空間は、いつも使っている人（グループ）に占有されてしまう恐れがある。慣れ親しんだ人が使っていると他の人が使いにくくなる雰囲気になるところがあるので、そういうことにならないような工夫が必要！ そうならないように、本施設の趣旨でもある交流に繋がるような管理ができれば良い。
- ・学童になる危惧がある。学童や保育所が足りない現状では、託児をしたり、サービスが良すぎたりすると、他地区から不公平感の声があがるのではないかと。
- ・東京インテリアやイオンなどでは、店の売り上げに貢献するから子どもの遊び場を設けているのであって、公共施設でそこまでする必要はないのではないかと？



・あくまで親が親の責任で遊ばせる場所。親の責任でないと、ボランティアなども責任が取れないのでは。
 ・基本的には、対象年齢は未就学児がメインで、最大でも小学1、2年生までになるのではないかと。そのため、親と子どもと一緒に遊ぶ（管理する）ことを想定し、管理責任は、親にあること！

キッズルームとしては・・・

- 遊具が多数ある！
- イオンでは130㎡くらいあり、それくらい欲しい！
- 保護者が子供と一緒に遊ぶ（保護者が面倒を見る）
- 部屋として区切らない方が目が届く場合もある。（ふるさと交流館のような）
- 年齢によるルールづくり
- 授乳、おむつ交換への配慮
- レイアウトにより親同士の交流の場に繋がる。

図書コーナー（児童図書館）

- 本を読んで子どもと遊べるのがGood！！
- ・子どもの森では、一緒に遊んだり、本を読んだりできる。
- ・子どもの本は、借りて2週間読んだりしない！
- ・その場で借りて（見て）、返すぐらいの感じがいい
- 図書館とキッズルームが離れているアイーナでは、そこに行くまでが散歩！（屋内空間における散歩の雰囲気演出）

- 県立図書館
- ・スタバのような感じ
- ・座りやすい、イス、ソファがあるリラックスし易い

託児空間

■利用形態について

- ・誰かが管理した方がいいと思うが、それは、施設全体の管理者が託児部分の管理方法を決めることになると思う。現時点では、そのときどきで、ボランティアの方々が来て託児できる、利用できるものとする。
- ・アイーナの例では託児的な空間がある。こういう空間は、ぜひとも必要である。
- ・相談室があったり、子育てをサポートするような機能もあればほしい。
- ・指定管理者がファミサポのように使ってもいいのでは？ 子育て支援センターとか？ →指定管理者が管理運営の一環として実施することは構わない。
- ・親が活動するときに、一時的に子どもを預けられるところがあればよく、常設化する必要はないのではないかと？ アイーナの子育てサポートルームとは自ずと体制が違うのではないかと？
- ・ふるさと交流館で生協が行う子育て中の親の講習会の例では、別の部屋を一部屋として、そこに託児の専門者を依頼して、託児を行っていた。
- ・福島のある施設では、プレイルームは就学前の子どもに限り、親が入れないようにコーナーを分けていた。（親は離れて見守る。）
- ・総合公園体育館に児童コーナーがあり、アリーナから見えるようになっていた。
- ・親同士の交流を意識し、子どもの遊び場はそれほど意識しない方がいいのでは。保育園ではない。



・親同士の交流、活動の場を支援するため、一時的に子どもを預けられる空間を設ける。
 （常設託児所ではなく、そのときどきで、託児者を依頼（ボランティアなど）して、託児できるようなことを想定する。）

居室カルテ（キッズルーム）

■所要室の必要条件の整理

施設分類	保健・福祉施設
その他、ワークショップで出た意見など	
<p>■床材について</p> <ul style="list-style-type: none"> 弾力性のあるもの！絨毯はダメ！清掃しやすいもの！ <p>■授乳室について</p> <ul style="list-style-type: none"> 必需品。 手洗いは、お湯がでること。 <p>■トイレについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 同じ部屋、または近くにあること。 手洗いは、お湯がでること。 <p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 屋外の芝生空間との連絡があればなおよい。 	<p>■管理者について</p> <ul style="list-style-type: none"> 複合施設自体は、特定の団体が常駐することは想定していない。 指定管理者やNPO団体が指定管理する場合は、あると思われる ファミリーサポートセンターは、鶯飼の例では個人(利用者)とセンターが契約する方法で行っている。

規模・機能・仕様など	他部屋との相関関係、イメージ図	関係する部屋
<p>■防音</p> <p>■汚れても良い床など(仕上げ) 危険のない、クッション性のある床</p> <p>■飲食可！</p> <p>■遊ぶもの！遊具！</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種ファミサポ主体のイベント実施 育児相談も行っている。 		<p>■遊ぶ空間</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的に単体の部屋。 屋外広場との行き来が可能であると、屋外も含めた一体的な空間がつかれる。 <p>■託児空間</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的に単体の部屋。その他、絵本などの読み聞かせなどで図書館との連携が図れば尚良いと思う。 <p>■遊ぶ・託児空間2つの共通</p> <ul style="list-style-type: none"> 2つの共通として、授乳室、おむつ交換、子ども用トイレがすぐ近くにあること。

居室カルテ（相談室）

■所要室の必要条件の整理

施設分類	保健・福祉施設
用途（部屋の役割・目的）	
各種相談に対応する部屋	
相談の中には、窓口で気軽に相談できる学習相談のようなものから、団体内の軋轢に触れるような深刻な相談もあります。相談室では、プライバシーに配慮して相談できるものです。	

寄せられた要望・意見等	ポストイット意見	発展意見等
<ul style="list-style-type: none"> ・社会的弱者の駆け込み寺的な利用も考え、プライバシーに配慮した相談室にしてほしい。 ・複数室設置してほしい。 ・保健師など資格ある人を常駐させてほしい。 ・ゆったりお茶を飲みながらリラックスできる環境で育児相談などができる場所にしてほしい。 ・役場窓口での手続きで来る人に対する相談窓口としても利用したい。（気軽な利用のために） ・自由に使える血圧計、体脂肪計、乳児体重計を設置してほしい。 ・生活習慣病予防や子供の事故予防のための展示コーナーを設けてほしい。 ・育児の悩みを相談できる人をおいてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プライバシーに配慮した相談室 ・育児相談ができる場 ・保健センターが入るイメージ ・育児相談 ・リラックスできる場所で育児相談ができる場所 ・体重計などがある。 ・夜間診療所 ・夜間健康相談室 ・資格のある人が常駐している相談室。 ・よろず相談所。健康診断所。マルチ相談所。 ・相談室を複数室。プライバシーの保護ができる部屋。 	<ul style="list-style-type: none"> →相談機能については、施設の趣旨、コンセプト、目的などの整理が必要。 →相談室としての部屋は必要であると思うが、役場と離れていると、逆に使い勝手が悪くなるのではないかと →資格者が常駐するとお金がかかるのでは。 →規模的に難しいのではないかと →深刻な相談は、ワンストップでできるように役場の方がいいのでは。それまでの経緯もある（単発の相談→役場には、プライバシー守れる相談室がない。 →器具を保管する倉庫が必要。

やりたいこと、知りたいこと、利用方法・され方〔やりたい・知りたいこと、いつ、どこで、だれが、なにを、どのようにするか〕、その他反対意見など

■役場と離れていると、使いづらい！不便になる！

（健康推進の相談関係）

同じ建物内に職員や相談室があることで、相談者へ柔軟な対応が可能となっているが、離れていると、移動・やり取りの手間がかかる。

■人権擁護委員の相談活動（福祉関係の相談）

・毎月第2水曜日（6月、12月除く）AM10:00～12:00で「ふれあい人権相談」を実施。相談者は1回当たり2人程度。

・H23年度は、老人福祉センター2階を利用。

・6月と12月の特設人権相談は、公民館、ふるさと交流館、勤労青少年ホームの3会場で10時～15時に実施。相談者は1回当たり3人程度。

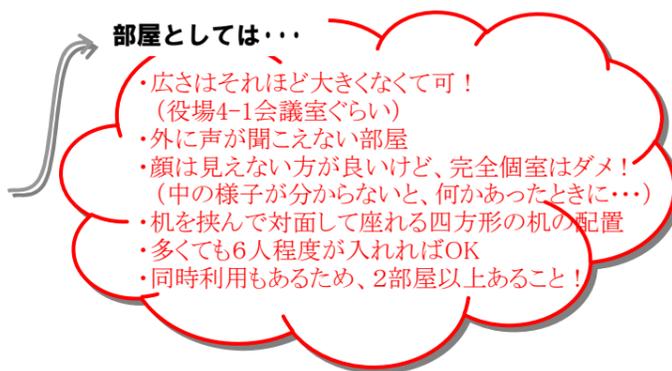
※老人福祉センター、公民館での相互利用は、将来は複合施設で！

※イメージ的には役場4-1委員会室に小窓付き

（密室性が高すぎるとダメ、若干見えること。1面及びドア部分のみガラス張りでブラインド仕様とか）

■保護司の対象者との面談（福祉関係の相談）

・保護司と対象者の方の1対1の相談。基本的に「家に行けない、来てもらえない」方が対象者になるので、利用頻度は、低いと思う。



規模・機能・仕様など	他部屋との相関関係、イメージ図	関係する部屋
<p>■位置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務室の近くが望ましい。 <p>■使われ方の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用料、予約なし ・小打合せ、商談等にも使える。 <p>■部屋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2部屋で1室あたりテーブル1つ、イス4つを想定。 	<p>役場・保健、福祉</p> <p>相談室</p> <p>離れていると使いづらいときもある一方、定期的に行われている相談もある。</p> <p>複合施設</p> <p>事務室</p> <p>相談室</p> <p>交流スペース</p> <p>どちらからも行き来ができる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事務室 ・交流スペース <p>役場と行き来し易いことに越したことはない！</p>

居室カルテ（ボランティアルーム・団体事務室）

■所要室の必要条件の整理

施設分類	保健・福祉施設
用途（部屋の役割・目的）	ボランティア・団体の活動拠点 臨時的に団体が活用するための事務室です。パソコンの回線、コピー機、印刷機などを常備し、団体の活動を支援します。なお、コピー機、印刷機などは一般の利用者にも貸し出します。団体間の会議などにも活用します。

寄せられた要望・意見等	ポストイット意見	発展意見等
<ul style="list-style-type: none"> ロッカー、印刷機、コピー機等がほしい。 お金を取らない部屋がほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 使われる。使いたくなる。 気軽に給湯室が使える。 	→部屋として区切り設けるのではなく、交流スペースの一角に設ける方が、よいのではないかと？

やりたいこと、知りたいこと、利用方法・され方〔やりたい・知りたいこと、いつ、どこで、だれが、なにを、どのようにするか〕、その他反対意見など

■コンセプト

- ・公益的な団体が公益活動のために使うスペースであり、室は予約なしで無料で利用できること。
- ・団体が使う備品類が揃っており、団体活動を支援する。

■バスケットボールなどの事務局など

物を置ける。パソコン、プリンター、コピー機を有料で使える。(ホテルのビジネスセンターのような感じ)

物を置いていけるって重要！
倉庫、ロッカーがあると便利！

さくらホールでは、共用倉庫があって、そこに各団体の物を置いている。アイーナなどに鍵付きロッカーがあるが、あまり使われていないように思う。倉庫的(さくらホール)な方が利用し易いのでは？

複合施設の他の部屋とは別に、ちょっとした打合せ・会議ができるスペース(個室でない部屋)あるといいよね。
また、さくらホールみたいに交流スペース部分や階段踊り場などにカフェテラスのようにテーブル・イスがあると、そこでもちょっとした打合せはできるね！(もちろん飲食可！)

アイーナ・県民活動交流センターの場合、個室ではなく、低いパーテーションで区切っていた。

・滝沢って自治会活動やまちづくりの活動も盛ん！
こういった人たちが、ここでチラシなどの製作作業したり、情報共有・収集できたり、交流できたりすると、もっともって活性するよね。

作業テーブルや印刷機、裁断機、製本機、垂幕作成機までであると、総会資料、会場準備、配布資料まで全部できる！

規模・機能・仕様など	他部屋との相関関係、イメージ図	関係する部屋
<p>■会議スペース 2団体(各10名程度)が同時使用できるスペース。(個室でなくても可、オープンスペースなどの配置で可)</p> <p>■印刷室 ・作業テーブル 2台 ・外から見えること⇒ガラス張り、印刷機などの使用のため防音対応) ・印刷機 1台 ・裁断機 1台 ・搾取孔機 1台 ・製本機 1台 ・横断幕、垂幕作成機 1台</p> <p>■貸し出しロッカー、レターケース・連絡ポスト ・登録活動団体の物品が置ける鍵付きロッカー(約20セット) ・又は共用倉庫。(量の制限などルール化も必要)</p>	<p>■特に部屋自体(団体の作業室であるため)が他の部屋と大きく関係してくるような部分はなく、この部屋で資料など作成し、それをもって活動するときに利用する会議室や和室、調理室などで他の部屋との関係、交流が生まれてくる。</p>	<p>■交流スペース</p>

居室カルテ（小ホール兼大会議室）

■所要室の必要条件の整理

施設分類	保健・福祉施設
用途（部屋の役割・目的）	
健康診断やダンスなど、多目的に利用	
<p>各種検診等を快適に行うため、会議室や小ホールなどについては外部動線も含めてレイアウトや部屋の構造を検討する必要があります。その他、ダンス、民謡、太極拳、ヨガ、ジャズダンス、エアロビクスなど健康運動系の活動は村内でも盛んであり、初心者などが気軽に参加できることも人気理由の一つのようです。そういった健康維持に役立つようなスペースの検討も重要と思われる。これらは種目ごとに床材の向き不向きなどもあるので注意が必要です。</p>	

寄せられた要望・意見等	ポストイット意見	発展意見等
<ul style="list-style-type: none"> 健康づくりの拠点として、子供の検診、成人の検診、健康教室の開催に配慮したものにしたい。 運動実技の場所として活用したい。 可動間仕切りを入れることで、広くも使え、仕切っても使えるようにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 小ホールに畳も置ける 小ホールに間仕切りして軽運動の教室などができる。（高齢者） 健康づくりの拠点 簡単なパーティー 健診に配慮。受診者がのんびりリラックスして受けられることが大切。 	<ul style="list-style-type: none"> →軽運動教室など300㎡くらいあれば。 →小ホールの用途を考えきちんと作ることが大事。小ホールのような部屋は、多用途にすると使いにくくなる。

やりたいこと、知りたいこと、利用方法・され方〔やりたい・知りたいこと、いつ、どこで、だれが、なにを、どのようにするか〕、その他反対意見など

他の部屋の意見なども踏まえ・・・

■乳児検診、各種検診ができるように

■パーティー、宴会など

- ・ケータリングして、調理実習室も使ってもらい、温かい料理の提供を！
- ・屋外で、自分達で焼肉や焼き鳥などをしながら、屋内でも食べれる、懇談できる！
- ・地産地消の飲食会、試食会の場として（調理実習室も活用）
- ・消防団で行うのに小ホールでは小さい（300㎡として＝ふるさと交流館ホール程度）ので、大ホールでもパーティーができるように！

■定期的な演芸、寄席など

- ・定期的がポイント！（主催者も参加者も予定を立て易い）

■ダンス、舞踊、軽運動など平土間として活用！

■大人数での会議、会合

→ そのまま、懇親会へ！

■スポーツ観戦

小ホール＝平土間（体育館のような感じ）、間仕切り不向き（1部屋、1空間のみ）
大会議室＝床材（一般的な会議室使用）、間仕切り可能（1部屋～複数）

色々な意見を
踏まえると

ふるさと交流館や他の施設において、平土間のホールは、最も利用が高いと言われる。そのため、複合施設において小ホールは、他の事例から最も利用が高いということ、また、大会議室と兼用すると空間も大きいゆえにテーブル、イスの出し入れが大変（数が多い）、そのために利用を敬遠される、壁・床の痛みが早くなるなどから、小ホール、大会議室をそれぞれ計画する。また、既存施設（ふるさと交流館、公民館ホール、共に約300㎡程度）との滲み分け、大ホール、大会議室との関係を踏まえ、200～250㎡程度とする。

これらの意見などから、さらに想定される利用や使われ方などをワークショップ！！

●NHKの「シャベリバ」ならぬ「コウギバ」はどうか？

ある講義室の毎週〇曜日、〇時からは講義専用とし、誰でも無料で講義できるようにしてはどうか？ 村内でも色々な人がおり、自分の経験やノウハウを話したいと思う人はいるのでは・・・

ただし、講義料は、聴衆者がそれぞれ評価して思いの金額を払う。上限ワンコイン（500円）と決めてもいい。主催者は、経費（講師料）が必要で予定も掲示板で知らせる。

●睦大学で昔語りをやっている。

15～16人で練習しているが、慣れてくるので発表の場がほしい。昔話は結構あり、放置しておくとも無くなっていくので、文化の継承のためにも必要と思う。零石に昔語り館がある。古民家風のスペースもいいかも・・・子供たちは本も読まなくなり、ゲームばかりである。子供たちに聞かせたい！

●睦大学で20名ほどで手品教室を行っている。

村内の講師だが、生徒それぞれも、テレビを見て自分で研究している。道具の自作もする。月4、5回老人ホームや幼稚園を中心に公演を行っている。盛岡市や矢巾町などからも依頼がくる。

※こういった「自分の力を役立てたい！」という思いは、この館のヒントになるのでは？

ホール部会のワークショップ内容から・・・

小ホールについて

- ・さくらホールの小ホール（平土間、220㎡）は評判が良く、利用率も一番高いとのことであった。
- ・胆沢文化ホールの小ホールは多目的ホールであり、ステージとして小さいものであるが自動で昇降する。幕なども付けられ、あれはあれで使いやすいのではないかと。
- ・大ホールは通常のホールとすると、小ホールは明るいホールにしてはどうか。パーティーなども行いやすく、屋外一体としても使え、ふるさと交流館とも差別化できる。

大ホールの計画？

■大ホールの計画

- ・約500㎡の平土間で、500～600席の可動席を予定している。
- ・ふるさと交流館のような前列部分のパイプイスだと、グレートが低く、誰も座りたがらない。
- ・睦大学の発表会や卒業式など、ふるさと交流館を利用していたものは、複合施設で行うことになると思う。

居室カルテ（小ホール兼大会議室）



■小ホールの位置付け

- ・公民館ホールとの兼ね合いがでてくる。公民館ホールは280㎡であり、複合施設ホールは、これより少し小さくなる予定。
- ・複合施設ができれば、公民館ホールから利用者が移動するのではないかな？

■小ホールで想定される主な利用

- ・睦大学ダンス・・・30人～40人程度
- ・さんさ踊りの練習
- ・空手の練習
- ・ダンス
- ・選挙の投票所
- ・村政功労者表彰式や消防団出初式など。→仮設ステージを利用する。
- ・写真、絵画コンクール
- ・交通安全大会→仮設ステージ利用。
- ・検診
- ・同じ開発区域内で整備予定である、産業雇用創造センター（産直や道の駅構想）とタイアップして、企業ブースの展示や物販なども考えられる。
- ・イベントなどで建物内と外の一体的な活用。

■用途

- ・体を動かす利用がメインになると思われる。通常は平土間利用が中心であり、会議はあくまで、サブ的位置付け。会議の度に、机・イスを移動するのは、無駄である。机、イスをメインで使う会議室とは分けて考えた方が良くと思う。
- ・ふるさと交流館の机は、移動時に倒れやすく、移動しにくい。
- ・検診利用のとき、ふるさと交流館では、ホール、和室、学習室を一度に使っている。また、ふるさと交流館は、天井が高いせいか、少し寒く、照明も暗い。

■床材などについて

- ・体を動かす利用がメインになると思われる。机、イスをメインで使う会議室とは分けて考えた方が良くと思う。
- ・社交ダンスでは、靴(特に女性のハイヒール)が床に傷をつけるということで禁止しているところがある。社交ダンスでは、その床環境にあわせて靴を変えることはしない。ふるさと交流館では、ダンスはOKにしている。
- ・ふるさと交流館ホールは、土足利用のため、裸足での利用はほとんどない。ほか、空手の利用は、床が痛むので、禁止している。
- ・陸上自衛隊のホールについては、200人収容で大会などはスリッパ履きである。3つのパーティションで仕切れ、1/3はダンスができる床になっている。(床の材質が、残り2/3と違う)
- ・土足にしない場合、靴箱を置かなければならない。大規模なスペースでは、靴箱の量も馬鹿にならないし、うまくゾーン分けしないと、いちいち靴を脱いだり、履いたりしなければならなくなる。

■ステージについて

- ・パンタグラフ式のステージなどもある。
- ・昇降ステージは、床スラブを下げなければならず、多額の費用がかかり、利用頻度を考えると必要ない。
- ・机やイスなどの収納スペースを考えると、ステージの下の空間は、重要である。ふるさと交流館などでも倉庫が不足している。

■防音について

- ・楽器などの中では、ドラムの音がうるさいとの苦情がでることがある。ドラムが一つのポイントになるのでは。さくらホールでは、ライブなどに使われることはあるのか？

■天井について

- ・天井は貼るのが一般的だと思うが、最近では、吊りものをあらわしにしている事例も多い。
- ・天井は、格子状にしていると、そこから吊り下げなどできて、展示などでは使いやすい。

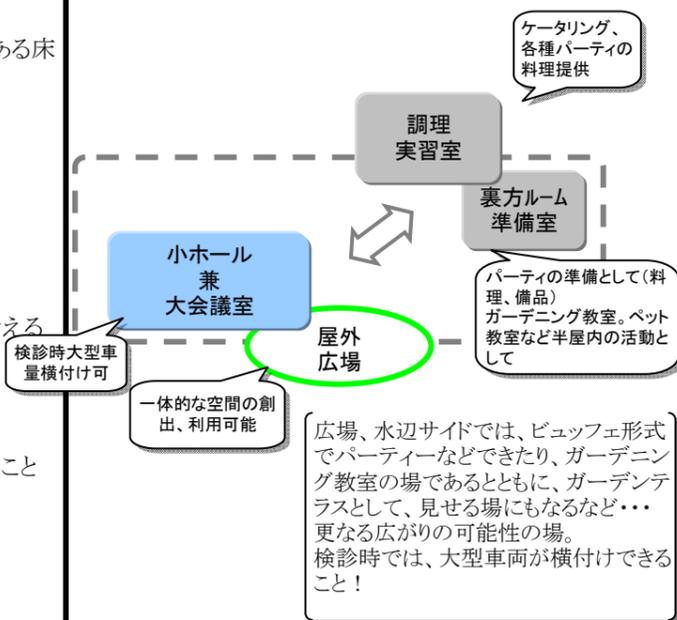
■建物内と外の関係

- ・ふるさと交流館では、三枚扉で外に繋がっているが、これは、非常ドアによるものである。搬出入で使ったりすることもあるが、音漏れがするので、無いほうが良い。ふるさと交流館で外と一体利用を行ったことはないし、実際そのように使うこともないのではないかな？もし、外と一体的に使うのであれば、干渉帯として廊下を設けるのはどうか？
- ・外にウッドデッキを設け、せり出し屋根を設けるなどの方法もあるのではないかな？

規模・機能・仕様など

- 乳児検診など各種検診が行えるように
(乳児検診の場合、赤ちゃんのため、クッション性のある床であること。マットを敷くなど楽に設営ができること。)
- 防音対応、鏡、手すり
・各種パーティー、宴会が可能(飲食可)
・ダンス、踊り、軽運動ができるように
- 屋外のテラスと一体となった空間の演出、利用
・ガーデンテラス、広場、水辺空間などとの一体性
- 少し大きめの会議やテレビを置きスポーツ観戦が行えること
- 災害対策本部の第二拠点としての活用
- 演芸、寄席、ファッションショー、昔語りなどが行えること
(仮設ステージの配置など)

他部屋との相関関係、イメージ図



関係する部屋

■小ホール

- ・調理実習室や準備室などで準備した料理の会食やパーティーなどが考えられる。また、大ホールは、無窓ホールに対して、小ホールは、窓を設けたホールとして、屋外の景色や屋外空間との一体的な活用が図れば、利用の可能性はさらに広がる。(企業ブースの展示や商談会、物販イベントなども実施可)

居室カルテ（ギャラリー）

■所要室の必要条件の整理

施設分類	交流施設	
用途（部屋の役割・目的）		
<p>創作活動の発表の場</p> <p>ギャラリーは発信の場です。当村の睦大学では、ちぎり絵、水墨画、手芸、習字、など数々の創作活動が行われています。これらの作品が飾られるギャラリーがあることは、参加している人たちにとって大きな励みになるはずです。ギャラリーは、照明や外音なども配慮されており、芸術家でなくとも、そこに飾られることで、晴れがましい気持ちになるような、作品が大切にされていると感じられる場所である必要があります。また、人の作品を見て自分もやってみたいと思う人たちも出てくるでしょう。サークルなどは会員募集の機会でもあります。もちろんギャラリーでは、滝沢村の伝統的な収集品や文化財、先人の偉業や作品、著名な絵画、写真、書、華道、工芸品などの展示も行われます。そのほか介護用品、外国の伝統工芸などテーマによる多種多様なものが考えられます。企画展示の場合におけるギャラリーは、集客力のある部屋でありながらホールと違って人が分散化できるという強みもあり、運営組織を作ることなども有効かもしれません。</p>		
寄せられた要望・意見等	ポストイット意見	発展意見等
<ul style="list-style-type: none"> ・皆の目につくところで壁を利用して展示できるようにしてほしい。 ・様々な展示に対応するようなスポットライトを設置してほしい。 ・子育てサークルや施設で活動した人などが作ったものを展示できるようにしてほしい。 ・展示されている作品が大事にされている展示室でありたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の作品展示 ・壁を活用した展示。 ・活動と展示が連携するように。 	

やりたいこと、知りたいこと、利用方法・され方〔やりたい・知りたいこと、いつ、どこで、だれが、なにを、どのようにするか〕、その他反対意見など

■ギャラリーは、発表の場として必要だが、使用料がネックになるのではないかと？
立派な展示室だと料金も高そうである。基本的に村民など、素人の発表には無料がいいのでは・・・

■発表したいという気持は誰にでもある。睦大学では、お山の湯で展示会を行っている。

■同人などでは、勧誘の機会にもなる。

発表・展示の場

■お金をとる展示では、客数が席数に限定されるホールと違って客を分散できるので、うまくいけば儲かるのでは・・・
←プロの作品展示を行う場合は、バックヤードなど倍のスペースが必要である。警備の問題もあり、リスクがある。

リスク管理

■県の公会堂の部屋は、県内の木工作家の展示会など、ギャラリーとしても使われる。歴史のある洋館の造りなので、展示して趣きがある。販売もしている。このようにお金をとったり、販売したりする場合は、有料でもいい。県内の製品と消費者、また作家同士の交流にもなる。

■滝沢村の芸術状況

- ・芸術祭の展示部門では、平成15年から公募数が減少している。芸文協の全員が高齢化してきている。
- ・県の芸術祭に出すから、村には出さないという人もいる。
- ・写真グループなどでは盛岡市で写真展を行っている例もある。
- ・睦大学の趣味の教室などは会員が増加している。
- ・少人数のグループでの活動が増えていくのではないかと。(村としてもそういったグループへの支援の方向に進むのではないかと。)
- ・現在の芸術祭は会場の関係(ふるさと交流館)で4週間に渡って行っているが(邦楽、洋楽、展示)、複合施設で会場を短期で確保できれば、2週間程度行いたいのが実情であり、そういう要望も受けている。
- ・村内で芸術活動を行っている人は多く、展示する場所を求めているので、それなりの貸しギャラリーができれば、毎日使われる可能性もある。
- ・県の巡回美術展なども、現在は村内に会場がないので断っているのが現状である。

■プロ作品の展示について

- ・作品に対する**保険料が高額**である。運送料も美術品となると保険料も含めて高額となる。
- ・展示場における作品の安全、保護などの観点から、人が常駐していること、区切られていることが必要である。
- ・取り扱いには、専門家の視点が必要であり、学芸員などが配置されている。
- ・作品については、展示だけではなく、保管に際しての倉庫の環境(温度、湿度、その他)も整える必要があり、保管にも最善の注意を払うことが必要となる。

機能的な面として・・・

■壁やピクチャーレール

・打ちっぱなしコンクリートの色(グレー)は、絵画の背景色としてあまり良くない。**白系が作品として映える。**重量がある作品については、**ピクチャーレールなどで上から吊るのが一般的**であるが、小さいもの、小品については、ピンで壁に直接刺せる方がよい。

■部屋(空間)の大きさ

- ・100号の作品(約1.0m×1.6m)を飾るとなると、かなり離れて鑑賞する必要があり、距離が確保できるかがポイントとなる。
- ・何を飾るかを考える必要がある。
- ・天井が高いとゆったり見れる。

■光り

- ・自然光は、絵の具の色が出る。一方、紫外線が作品に悪影響を与える。間接照明として、自然光を活かす方法もある。
- ・自然光に近いライトもある。
- ・スポットライトは、かなり熱くなるので、作品にとって負担がかかる。今は良いもの(あまり熱くならないもの)もあるのではないかと。

■他のギャラリーの例

- ・リアスホールのギャラリーは、約100㎡であり、可動間仕切りで壁面を増すようにしている。
- ・アイーナのギャラリーは、スペースもあり天井も高いが、場所が分かりにくく、展示しているかどうか気づかない。
- ・テレビいわてのギャラリースペースは、自然光を取り入れ、壁面を高くしている。受付にテーブルがあり、面的にコーナーが区切られている。共有スペースであるが、鑑賞する人は、一歩踏み入れる形になっている。
- ・野菊ホールなども村内の芸術家で展示ギャラリーとして活用していると聞いている。
- ・エスポワールの入口の正面スペースは、パーテーションで個室に区切って絵の展示会などよく行っている。入りやすい雰囲気があり、使いやすそうであった。
- ・盛岡歴史文化館は、オープンな空間で太鼓が叩けるようになっており、うるさく展示物に集中できない！かと言って、足音に気を使っているようではダメ！

■ふるさと交流館の状況

- ・ふるさと交流館では、廊下を「アート365」として無料ギャラリーにしている。本人希望で1ヶ月展示もあれば、1週間展示もある。照明を使うので、経費はかかっており、お金をとりたい面もある。
- ・ロビーにピクチャーレールとスポットライトを取り付けているが、要望により後から付けたものである。
- ・学習室にピクチャーレールが付いており、先月(H23.9月)初めてプロの作品展示を行った。
- ・(場所が無いので)ホールで展示を行う場合もあるが、もともと想定していなかったので仕方ないが、照明が暗く不評である。

居室カルテ（ギャラリー）

規模・機能・仕様など	関係する部屋
<p>■方向性 ・プロの展示を想定すると専用ギャラリーとなり、使用料金も高額となり、絵画などの管理費用、学芸員なども必要となるので、あくまでアマチュアの芸術品を中心としたギャラリーを目指す。</p> <p>■専用ギャラリーを小さくてもいいので設ける ・可動間仕切りを設け、展示数を稼げるようにする。プチイベントなどにも対応できるようにする。 ・玄関からすぐの目立つ場所が望ましい。 ・図書館利用者なども関心を持つと思われ、それなりの雰囲気があれば、活ユーザーも多いと思われ、毎日、展示会が行われると思う。</p> <p>■共用スペース(交流スペース)との兼用 ・共用スペースの一部をギャラリーとして利用できるようにする。 (壁材、照明、ピクチャーレールなど) ・パーティションなどで区切ってコーナー化、ブース化できるようにする。 ・時として専用ギャラリーと一緒にできるようにする。共用スペースでも有料で貸し出せるように、一定の質感に配慮する。オプションとして受付テーブルなども踏まえた配置計画とし、ギャラリー空間として意識できるようにする。 ・共用スペース、オープンスペースでの利用にあたっては、ショッピングセンターのセントラルコートのように、子ども達の絵やその季節ごとの装飾(鯉のぼり、ハロウィン、クリスマス、正月、ひなまつりなど)をしたり、屋外での装飾(雪明りなど)などの一連、一体的な演出を可能とすることで、芸術に興味を持たせる演出や参加イベントなどを行ったりして、芸術で交流する空間とする。</p> <p>■部屋の兼用 ・大会議室などについては、芸術祭のときに展示室として使えるように、ピクチャーレール、スポットライトなどを配慮する。この場合、会議室においては、机やイスを移動しなければならぬので、あくまで、芸術祭などの場合とする。</p> <p>■その他 ・工芸品の展示などでは、展示台などの備品も必要であり、それを保管する倉庫も必要である。 ・喫茶コーナーなどと近いと、くつろいで鑑賞ができる。</p>	<p>[ギャラリー] ・交流スペース(交流スペース、玄関、屋外スペース) ・大会議室 ・喫茶コーナー</p> <p style="text-align: center; background-color: #333; color: white; padding: 5px; margin-top: 10px;">他部屋との相関関係、イメージ図</p> <p style="text-align: center;">調理実習室で蒸かしたもち米を催事スペースでもちつきを行うなど</p>

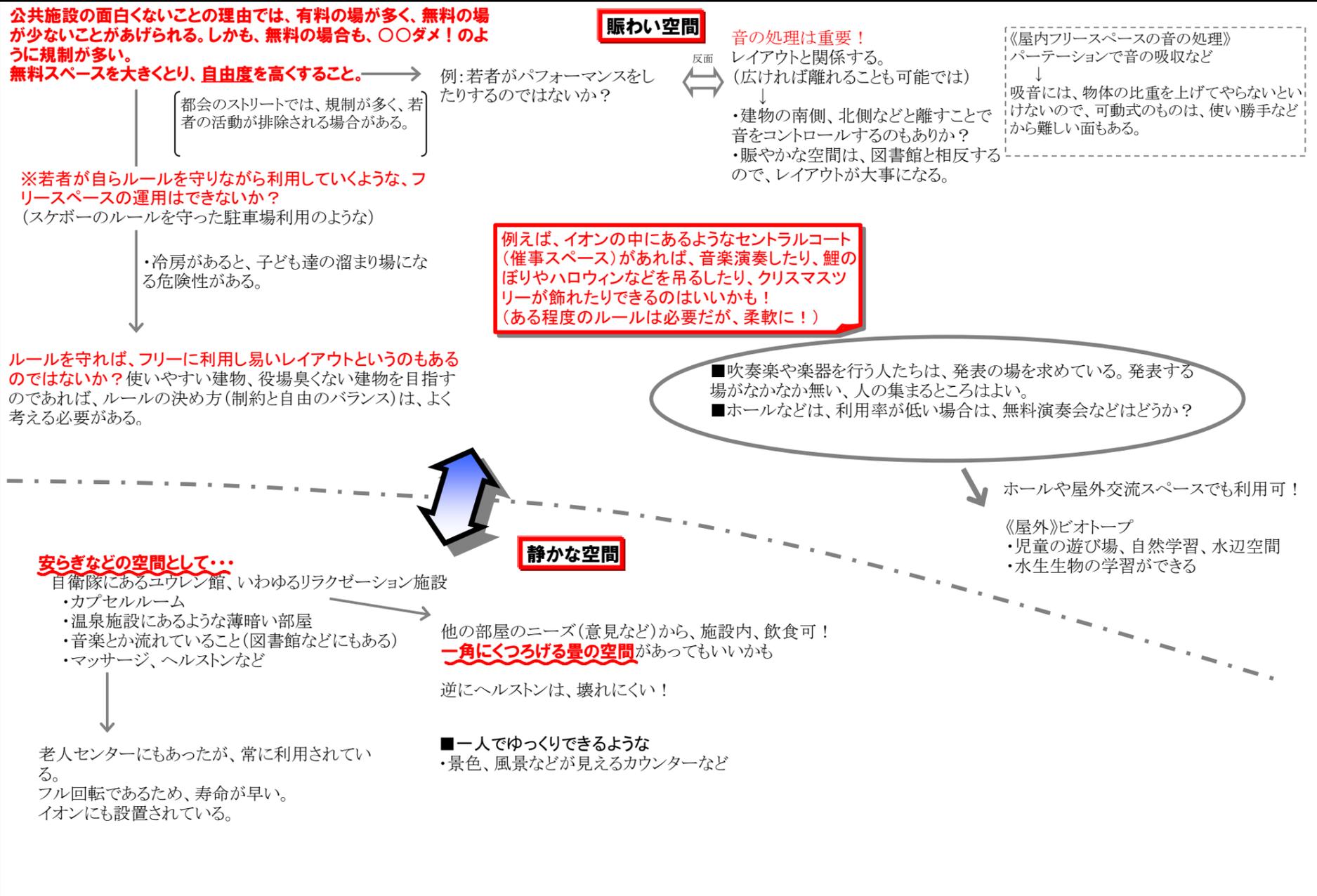
居室カルテ（ロビー・交流スペース）

■所要室の必要条件の整理

施設分類	交流施設
用途（部屋の役割・目的）	
<p>■談話コーナー、情報提供コーナー 交流拠点複合施設では、交流コーナーが重要です。各団体が活動後に語らったり、ちょっとした打ち合わせに使ったり、図書館利用者が親子で昼食を取ったり、雨の日はちょっとした待避所になったりと多目的に使われます。緊急時に会議を開くこともできそうです。 例えば、幼児教室で集まったお母さんたちが帰りがけにちょっとした話が気軽にできるスペースがあれば、交流の糸口が掴めるのではないのでしょうか。（立ち話で終わってしまうのでは大きな違いでしょう。） 交流コーナーは、どのような場合人は心地よくその場にいられるか、人と人に交流を促す距離間とは、といった人間工学的な検討も必要になるかもしれません。パフォーマンスを行う広場などとしても活用できればいいのかもしれません。</p> <p>■エントランス（利用者の出入口、休憩・交流スペース） ロビー・交流スペースとダブル点多々あると思いますが、他の先進施設では、4人掛けのテーブルを基本に配置し、かつ、飲食も可とし、来た人が自由に打合せ、待ち合わせなどで利用していました。玄関口からこういった風景が見えるラフな施設のイメージ、また、施設全体でこういった雰囲気が味わえることは、施設全体のイメージを印象づけるものでもあります。</p>	

寄せられた要望・意見等	ポストイット意見	発展意見等
・誰でも机やイスを使用できるようにしてほしい。	・屋外の自由広場	→イベントのさいに屋外の自由広場とロビーを一体的に使用出来る仕組み。
・部屋として区切られていない自由に利用できるスペースにしてほしい。		
・利用者が気軽に語り合えるスペースにしてほしい。		
・子供や子育て世代と高齢者の交流ができる場所にしてほしい。世代間交流の場にもなってほしい。		
・伝承遊びを教える場になるようにしてほしい。		
・障がい者、高齢者、親子のたまり場となるようにしてほしい。		
・集合場所や、待っている場所、中・高生の親のお迎えなどで利用できるようにしてほしい。	・深夜営業	
・夜遅くまでオープンしてほしい（若者が活動しやすいように）。	・入り口にいろんなものが気軽に貼れる。イベントから個人の告知のようなものまで	→個人の、例えば探し犬のようなものまで貼れるといいな。さくらホールの入り口付近に広く設けてある。掲示内容等について管理が必要。 →100人規模のレセプションを行える会場は村内になく、村内のお祝い事は村内で完結できるように。
・簡単なパーティーが開けるようにしてほしい。	・レセプション会場	
・自由に飲食できるようにしてほしい。	・エントランスは安心、安全、明るく	
・役場一階の住民コーナーのようなみどり、水、癒しがあるようなスペースにしてほしい。	・癒しのスペース	→フリーに使えながら、喫茶しながら誰でも気軽に利用できるスペースが必要。
・特定の年齢層に偏ると入りづらくなるので、あらゆる世代に受けいられるようなスペースにしてほしい。	・若者が交流できる	
・屋外の自由広場を考慮してほしい。	・気軽なスペース、飲食が気兼ねなくできる	→飲食ができると雰囲気が変わる。居やすさが生じる。他の施設でも飲食が可能な施設はあったが、カップラーメンの汁の問題などで禁止されることもあった。例えば高校生が極端に集まってしまったりすることを想定する必要がある。
・静かに過ごしたい人、ワイワイ過ごしたい人どちらも過ごせるように。	・暑い時、寒い時に親子で過ごせる	
・一人ぼっち対策の場所にしてほしい。	・緑の癒し、ピオトープのようなものが欲しい	
・安心・安全・明るい場所にしてほしい。		

やりたいこと、知りたいこと、利用方法・され方〔やりたい・知りたいこと、いつ、どこで、だれが、なにを、どのようにするか〕、その他反対意見など



居室カルテ（ロビー・交流スペース）

■レイアウトなど

- ・交流スペースは、一定の広さが必要。
- ・回遊できるような感じ。建物内も外も回遊できればとても良く、一つのポイントとなると思われる。
- ・アイーナでは、1階の免許センター部分は、天井が低く印象が良くない。
- ・交流スペースは、通常入口に近いので、田んぼの中の吹きさらしになる。こういった環境の中では、玄関近くは、冬は寒いと思うので、工夫が必要。
- ・部屋であれば冷暖房効果も良いが、開放的な空間では、冷暖房効率も悪く、逆に落ち着かない空間になる危険性もあるので、部屋の方がいいかも・・・
- ・共用スペースが使いやすいのはいいこと！稼働率にカウントできる工夫があればなお良い。

■イス

- ・イスなどは、ひらたタウンセンターのように壁づたいにあるのも良い。アイーナでは、各階にイス、テーブルが配置されており、気軽に座れる。
- ・イス、テーブルがあちこちにあると良い。

■掲示板

- ・壁面の利用、パネルを並べるとそれだけでも雰囲気が出る。
- ・展示ケースと掲示スペースをうまく融合させ、情報を届ける。
- ・役場では、落ち着いて見る雰囲気がない。

■交流について

- ・交流のコンセプトを決めた方がいいのではないか。
- 世界との交流？村内での交流活性化、村の産業センターとして、文化、産業、観光、食の発信・交流。
- 大学との連携。公開講座。役場前キャンパス。



自由意見などを踏まえると・・・

**交流スペースは、
色々な活動の場の結節部分である！**

■他との連携

○屋内

- ・小ホールや調理室などとの連携。
- ・企業ブースのようなものを設けられると使い勝手が非常に良くなる。
- ・小ホールを使っていないときは、無料開放してはどうか？
- 無料開放では破損のリスクもある。管理上はモニターを付けることも可能！

○屋外

- ・屋外の屋根つきスペースとの一体活用。
- ・屋外広場として、札幌市立図書館や中ノ島公園に屋外円形ステージがあり、非常に良い。
- ・外のイベントとの一体利用については、実例があるのか？
- ・外のイベントでも使える可動式ステージ

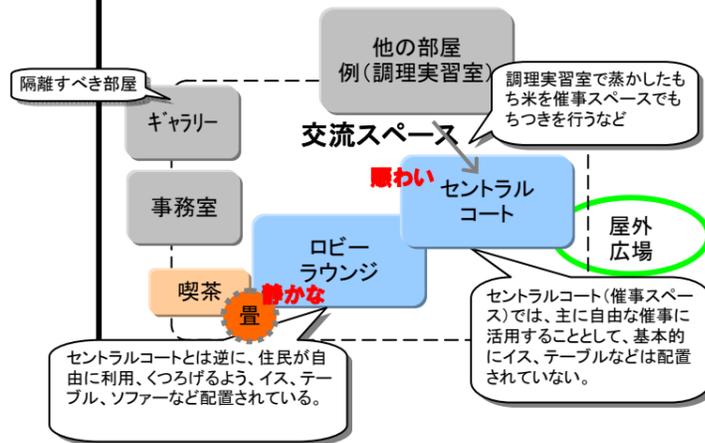
■利用形態

- ・小・中学生と親の待ち合わせの場。
- (現在、役場内や近くのローソンで待ち合わせしている。)
- ・21時以上まで開館してはどうか？22時や23時とか。アイーナは21時30分まで開館している。
- 開館時間については、今後、管理者(指定管理など)が決めることになる。

規模・機能・仕様など

他部屋との相関関係、イメージ図

関係する部屋



居室カルテ（レストラン・喫茶・フードコート）

■所要室の必要条件の整理

施設分類	交流施設
用途（部屋の役割・目的）	
<p>軽食、喫茶の提供の場</p> <p>農家レストラン、高齢者による郷土食レストラン、知的障がい者が運営するレストラン、村の食材を使った日替わりメニュー、盛農レシピなどによるパンと料理、など各方面と連携したいろいろな展開が楽しそうです。（コミュニティ食堂、地域食堂という切り口もあるそうです。）</p> <p>レストランは、入り口に近い位置に配し、食事利用のみの方も利用しやすいようにします。</p> <p>複合施設内で行うパーティー等へのケータリングサービス（料理の提供）も考慮されます。</p> <p>喫茶コーナーは、ロビーとの関連性を持たせ、ロビー利用者が気軽に利用できるのが機能的と思われます。</p>	

寄せられた要望・意見等	ポストイット意見	発展意見等
<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に茶饮めたり、軽食が食べられるようにしてほしい。 ・食べ物を持ち込めるようにしてほしい。 ・高齢者や障がい者が作ることを前提としてほしい。 ・マイカップの持ち込みなどで利用できるようなフードコートがほしい。 ・農家レストラン。地元農産物を使ったり、加工品を出したりするレストランであってほしい。 ・しっかり利益が出るレストランにしてほしい。 ・高齢者の作ったパッチワーク、籐細工、染物、編み物などを販売するようなスペースがほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰でも使えるフリースペース ・農家レストラン ・おいしいレストラン ・ちょっとした待ち合わせができる（お茶、スターバックス） ・環境に配慮したフードコート ・レストラン、喫茶コーナー、フードコート、地元農産物を使ったり、加工品を出したりする場であってほしい。 ・民間誘導を行って施設の充実 	<p>→持ち込んだものを飲食したり、その場で飲み物などを購入できる。高校生などの勉強スペースにもなる。</p> <p>一隣の敷地スペースに「産業雇用創造センター」ができるので、レストランはそちらにして、こちらは喫茶程度でいいのではないかと。</p>

やりたいこと、知りたいこと、利用方法・され方〔やりたい・知りたいこと、いつ、どこで、だれが、なにを、どのようにするか〕、その他反対意見など

■販売する人（喫茶コーナー）

- ・ガラス付きのショーケースは、必要。
- ・公共の喫茶コーナーは、普通苦悶する。これには、人が居るから使われるだろうではなく、魅力のある喫茶コーナーにしていく必要がある。
- ・福祉団体が、運営すれば、輪が広がる。
- ・フリーの席では、手弁当の人たちとの境界が難しいかも。
- ・役場周辺には、喫茶店が無いので、やり方次第ではうまくいくと思う。
- ・複合施設で行う喫茶コーナーについては、福祉団体などの働く場の一環として喫茶提供するという考えが良い。この部分のみでの集客は期待できるものではなく、社会福祉の貢献をということが重要である。
- ・アイーナでは、障害者（授産施設）がコーヒーなどを販売している。

■他施設事例では・・・

- ・他の施設（リアスホール、さくらホール）にも同じようなコーナーがあるものの、大規模なイベント時以外は、全く利用されていないとのこと。

規模・機能・仕様など	他部屋との相関関係、イメージ図	関係する部屋

居室カルテ（運動施設の機能）

■所要室の必要条件の整理

施設分類	保健・福祉施設
用途（部屋の役割・目的）	<p>老人福祉センターに付属する「はつらつ元気館」（高齢者のための器具を使った体力増進施設）の利用度が高いようです。高齢者に限らず健康維持のために運動に感心を持っている人は少なくありません。</p> <p>屋内運動施設は、村内の各施設において、主に球技など団体スポーツに利用され、各チームの活動と親睦、健康維持に貢献しています。</p> <p>一方、普段運動をしないような人がふらっと行って体を動かすには、マシンのあるトレーニングルームなどの一部の施設を除いて村内屋内施設では限られているのが現状です。</p>

寄せられた要望・意見等	ポストイット意見	発展意見等
<ul style="list-style-type: none"> ・運動ジム（民間誘導？）がほしい。 ・広場に簡単なストレッチや筋トレができる機器を設置してほしい。 		

やりたいこと、知りたいこと、利用方法・され方〔やりたい・知りたいこと、いつ、どこで、だれが、なにを、どのようにするか〕、その他反対意見など

《既存の運動施設って足りてる？》

運動施設

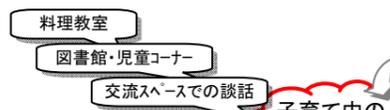
- [ヨガ、体操] 文化的活動 → 団体活動
- [機械体操] → 個人活動

トレーニングルーム

- 総合公園体育館
- 元気館。ただし高齢者のみ利用可。
- 民間施設少ない。

プール

- 県大にもあるが一般公開していない。
- 自衛隊の中にある。
- 村営プールがない。



子育て中の母親の運動

更なる広がりへ！

なかなか利用できない。利用したいがキッカケが... まとまって（講座など）実施する場所が... など

施設内を周遊できたり、ストレッチとかできる遊具、機械がある。
複合施設の中にだけと捉えると難しい部分※1もあり、無理がゆえに中途半端になる恐れもある。総合公園、役場、複合施設を公共ゾーンとして捉え、面的（全体的）な相乗効果・機能の充実を目指していくことも重要。

- 例えば...
- ・屋外広場にストレッチ遊具を配置するとか。（屋内でも可！）
 - ・施設内ではなく、外で周遊できたり。
 - ・健康コーナーとして、体重計、身長計、血圧計など測定できる。

- 霰石はちょっと遠い。
- ゆびあずもちょっと遠い。
- 市営プール（本宮）は、プールの高さを変えられて良い。

「プールは本当に必要なのでは？」

運動系の体育施設と複合施設のような文化的施設。相反するこのものを同一内で設けることで、逆に、交流、相乗効果が生まれるかも...

規模・機能・仕様など	他部屋との相関関係、イメージ図	関係する部屋
	<p>会議室、小ホール、複合施設（交流スペース）、授乳キッズ、健康コーナー、文化活動団体活動、体重計、身長計、血圧計、ストレッチ遊具、役場、総合公園、トレーニングルーム、個人的活動、周遊する仕組み、仕掛</p>	<p>※1 複合施設の主要な旨として、公民館、図書館なども文化的施設整備を目的としている。よって、複合施設の中にだけと捉えると、そもそも体育・運動系を主体としている施設ではないので、他の文化的所要室メインによる色々な制約を受け、逆に中途半端な部屋になる恐れがある。</p>

居室カルテ（共用・共通部分）

■所要室の必要条件の整理

施設分類	共用・共通部分	
用途（部屋の役割・目的）		
<p>■エレベーター（一般利用者、管理用エレベーター） エレベーターは、複数階を有する建物では、今や欠かせない設備となっています。設置には、数百万円の設置費用と、設置後のメンテ費用などかかり、やむを得ない部分ではありますが、階段やスロープを主たる移動手段とし（EVは補助的な移動手段とし）、そこに展示などの楽しさを演出すれば、電気代削減などといった効果もあるのではないのでしょうか？</p>		
<p>■トイレ（男子便所・女子便所・多目的便所） トイレについては、近年では、広く使いやすいトイレ、民間施設（ショッピングセンター）のようなトイレが望まれると考えられます。また、トイレへの行きやすさ（場所の分かりやすさ）も重要であり、適所にピクトサインの配置など検討が必要です。</p>		
<p>■授乳室 授乳室については、トイレと同様に今や必需品です。</p>		
<p>■給湯室 会議、来客時などにおけるお茶などの提供はもとより、趣味の教室（お花や書道など）流しを要する活動などにも使われます。</p>		
<p>■シャワー室 実は、あるようでないのが、この部屋ではないのでしょうか？毎日の利用は無いかもしれませんが、公演、舞台の後での利用はもとより、各種イベント後での利用や、災害対応時にも、汗や汚れを落としたり、避難者へのシャワー提供が可能となります。</p>		
<p>■倉庫 倉庫は、各部屋に対して必ず必要となるものであり、大きさについては、備品等十分に入る大きさ、また、単なる保管だけでなく、倉庫内で整理などでもできる作業スペースを十分に確保する必要があります。</p>		
寄せられた要望・意見等	ポストイット意見	発展意見等
<p>■エレベーター ・障害者対応のものにしてほしい。 ・荷物用の小型エレベーターがほしい。</p>	<p>・エレベーターは障害者対応 ・エレベーター、廊下は転倒防止に気をつけたもの</p>	
<p>■トイレ ・オストメイト対応、オムツ換えベッド、ベビーチェアが備わっているものにしてほしい。洋式トイレで、子供の便器も必要！ ・感染防止のため、センサーで水が出て手洗いができるようにしてほしい。 ・人に優しいトイレ（障がい者用という意味でなく）。 ・広くてきれいなトイレにしてほしい。 ・利用者数に見合ったトイレや手洗い場を設置してほしい。</p>	<p>・安心安全な施設。段差少なく。 ・広いトイレ、きれいなトイレ。 ・便所はユニバーサルデザインで ・オストメイト対応 ・広くてきれいなトイレ ・感染防止のトイレ（病気がうつらない） ・汚してもきれいになれるように。施設が汚れにくくな</p>	<p>→交流人口が増えることによりトイレの使用頻度が高くなるのが予想される。トイレの印象は強くイメージアップのためにも広く清潔なトイレが必要。 →授乳室やおむつ交換できる部屋がないと長居できない。</p>
<p>■授乳室 ・授乳やおむつ交換できる部屋が必要。</p>	<p>・授乳室。安心してできるところがほしい。授乳やおむつ交換できる部屋は重要。乳児とママが安心して来館で</p>	<p>→デザイン重視でなく。</p>
<p>■給湯室 ・気軽に使える給湯室がほしい。</p>	<p>・給湯室</p>	<p>従来からよく施設にある給湯室（皆で共有）でもよいが、ある程度、各部屋に簡易型の流し（IH対応）があるだけで、グッと利便性があがるのではないかと。</p>
<p>■シャワー室 ・気軽に使える給湯室がほしい。</p>	<p>・シャワー室</p>	<p>シャワーは、有料設備としても使用頻度は高いと思われるシャワー室でも良いが、湯舟があると良い。シャワーでは、汗を流す程度であり、風呂があると体が温まる。また、長期災害時や高齢者にとって、体が温まると落ち着くこともある。</p>
<p>■倉庫 ・保健事業に必要な備品等を収納・保管できるようにしてほしい。</p>	<p>・備品等の倉庫</p>	<p>→ある施設は、絨毯のためかカップラーメン禁止。気を使うのはどうか。→ある施設は、高校生の使い方が荒く、そのせいで。 検診時などで使用する体重計など結構な重量物もあるので、荷物を常に置けるように倉庫を充実してほしい。 多用途、多目的な部屋の使われ方がすればするほど、それに伴う、備品なども多用途に確保し、また、保管する場所も必要となる。 部屋ごとに倉庫も設けるということもあるが、共用倉庫のような形式で、倉庫を中心に各居室へ必要なものをそれぞれが搬出入するような形式だと使用し易いのでは？ → ふるさと交流館でも同様の手法をとったが、机、イスなどは、ある程度各部屋に専用として配置しないと、出し入れ（移動）が激しいので床、壁がすごく傷んでしまうので、注意が必要！ 各種団体専用の倉庫があってもいいかも 倉庫ではないが、コインロッカーも必要では。 単なる物を詰め込む倉庫ではなく、倉庫内で壊れた備品の修理など、作業スペースも確保することが重要！ 倉庫内の物品が容易に搬出入できるよう、倉庫内の通路なども十分に確保する必要がある。</p>

居室カルテ（共用・共通部分）

使いやすさ、分かりやすさ、ユニバーサルデザインに関することなど

※共用・共通部分においては、他の諸室にある「やりたいこと、知りたいことなど」のいわゆる活動的な部分を拾いあげていくのではなく、機能的なものが求められることから、「使いやすさ、分かりやすさ、ユニバーサルデザインに関することなど」としてとりまとめる。

ユニバーサルデザインを考えるにあたって

ユニバーサルデザインを考えるにあたって・・・

・答えがあって、やってもらうのではなく、こういったワークショップなどを通じて、いろいろなアイデアを出してもらって行く中で、みんなでよい物を作り上げていく。また、こういったプロセスが非常に重要である。

コストのかからないユニバーサルデザインの事例

・例えばアイーナでは、絨毯の模様で避難方向を示している。
・通路の床材も同じもので統一するのではなく、硬い、柔らかいをとりいれ、材質の違いにより、経路を誘導する方法などある。

コストとユニバーサルデザインとコストの関係

・基本的に予算も無限にあるわけではなく、限りある中で、予算の範囲内で考えていくことは重要である。そのため、途中、途中で議論しながら工夫しながらやっていくこと、こういったプロセスを経ていくことで、みんなと同じ認識、理解で進むことが、良いものづくりに繋がる。

東北地方では必ずある、冬の困りごと！または冬季対策など

■降雪時などの困りごと

駐車場の区画線

駐車場の区画線が見えないと、バラバラに車を止めて、台数確保や通行の妨げになる。

区画線だけ、融雪するような素材もあるようである。上からレーザー光線で表示するものもあるらしい。（コストはかかるが・・・）

区画線や白線は、非常に滑りやすく、危険である。

→近年では、いろいろな骨材を入れて、すべりにくくしている材料もある。

その他（建物としては）

寒さ対策をしっかりとしてほしい。

他の施設事例では、コンクリート打ちっばなしで高い吹き抜けで、暖房しても18℃以上にならない。また、逆にガラス張りの施設では、夏暑いといった事例がある。

点字タイル

気のせいかもしれないが、点字タイルは非常に滑りやすい。滑り難いものにしてほしい。

→陶器製のものについては、表面がツルツルしているので濡れると滑りやすいようである。

高齢者にとっては

高齢者にとっては、冬期間は非常に大変である。打撲、捻挫、骨折に見舞われており、新しい施設では、少なくとも滑って転んだということがないようにしてほしい。

■降雪対策としては・・・

1階ピロティ構造

1階ピロティ形式は、雪国にとって非常に効果的な建物である。

近年、建設された民間施設（ヤマダ電機など）では、1階部分がピロティになっており、除雪を行う必要がなく、効果的である。

また、夏は雨にもあたらないため、冬に限らず、非常に良い事例である。

そのため、ピロティ部分は、まつりや各種イベントにも降雨、降雪を気にすることなく実施ができ、有効である。

舗装面は、ロードヒーティング

除雪の費用を考えれば、初期投資した方がいいのではないかな？

屋根をかける

・アイーナでは、一部分に屋根をかけた駐車場がある。盛岡駅西口のバスターミナルは、乗降の際の降雨、降雪をしのぐためだけであり、待合のときも降雨、降雪をしのげるような屋根面が必要。

・子ども連れなどでは、荷物を抱え、かつ、子どもと手をつないだりするため、屋根のかかった部分は、非常に効果的である。

移動方法の連続性（徒歩）

役場との行き来

・建物同士が近い方が便利である。産直施設も計画されているようであるため、役場に用足して、行き来できることは必要である。

・盛岡駅の「さんさ小道（空中歩道）」のようなものがあれば、濡れないし良い。

・スロープ型のエスカレーターは、非常に良い。

空中歩道、地下道

・空中歩道については、地上に行くまで必ずエレベーター（EV）が必要と思う。役場側、複合施設側それぞれで必要と思われるが、複合施設側については、建物直結とし、建物内のEVを利用するようなコストダウンに向けた配慮も必要と思う。

・複合施設の事業費も相当な費用と思うが、さらに空中歩道（地下道）など整備できるのか？

→事業費は相当額かかると思われ、今後、要調整事項である。

→上空や地下ではなく平面で移動できれば、低コストで済むと思われるが、役場への入口に交差点又は横断歩道を設けることは、今後の関係機関との協議によるが、分署前を交差点にする予定であり、距離が近く、難しいと思われる。

・空中歩道については、ランドマーク的には良いが、本地域（田園風景）の景観なども踏まえると、果たして本当に良いのか？今後、考えていかなければならないと思う。最近では、明るい地下道もある。

移動方法の連続性（公共交通）

公共交通（路線バス、福祉バス）

・現在、役場に発着場があり、さらに複合施設にもバス停を設けるとなると、距離が近いのに2回寄ることになるため、近いわりに時間がかかり、難しいと思う。

・バスやタクシーの待機場は、屋根のみならず、横からの雨、雪、風を防ぐよう、ある程度、壁面の囲いも必要。できれば、建物内に待合室を設け、建物内で待っているような環境が望ましい。これが、複合施設内とあれば、施設のコンセプトでもある「交流」に繋がるのでは。皆と一緒に話しながら待っていられることも重要！

・ちなみにバスの始発は、6時頃からなので、待機場と施設とは管理区分できるような仕組みとする必要がある。

トイレについて

近年のトイレ

- ・最近のトイレは、特に民間施設（イオンや川徳）におけるトイレは、非常に良いものになってきている。また、民間施設のみならず、公共施設（アイーナ）もいろいろ配慮されたトイレになってきている。ネックを言うと、トイレへの表示が見にくかったりする。
- ・ついこの前までは、男性トイレには、オムツ替えシートがなく、女性のみが育児をしているような感じがあったが、最近では、男性が子育てに参加するようになり、**男性トイレにもオムツ替えシートが設置される場所が増えてきた。**
- ・**トイレについては、すべてを画一的に同じにする必要はない。**同じにしても、みんな100%満足する（使いやすい）とは限らない。色々なニーズがあるし、それを満足させようとすると、他の部分では、使いにくかったりする。そのため、色々な形態のトイレで構成し、かつ、それらがどこにあるか、入口できちんと明示してあげることにより、使いやすいものができあがる。

トイレ（詳細部分）

- ・子どものトイレについては、おまるをはめるタイプのもは、実は子どもはやりづらく、被せるタイプのもがいい。もっといいのは、**子供用の小さい便器があるといい。**
- ・多目的トイレなどで、内開きの扉があるが、スペースの関係上こういった戸になったと思うが、この戸は親、子供が一斉にさがる必要があり、出入りにくい。**やはり、引き戸が一番良い。**
- ・他の施設では、建物デザインが優先されたようで、トイレの表示がわかりにくい→場所がわからない、といったことがあった。**トイレは、必ず使う場所でもあることから、分かりやすい＝デザインと調和し、場所も隅っこではなく、行きやすいところに計画することが必要と思う。**

居室カルテ（図書館）

■所要室の必要条件の整理

施設分類		学習・住民活動施設
用途（部屋の役割・目的）		
<p>図書館は、小さな子どもから高齢者まで誰でも気軽に読書を楽しむことができる施設です。当村の現施設は貸し出し中心ですが、その場でゆっくり読むスペースがあればと思う人も少なくないでしょう。読書には、人生を豊かにする、知識を高める、必要なことを調べる、など生活に必要なものを取り入れる機能が備わっています。また、同じ本を輪読することで議論を深めることもできます。</p> <p>図書館の側でもいろいろな特集コーナーを設けたり、展示物とタイアップしたりと工夫しており、また、図書館には図書館司書がおり、ジャンルに応じたいろいろな相談に乗ってくれます。良質な児童図書を紹介して欲しいといった相談も少なくないのではないのでしょうか。</p> <p>当村には県立大学、盛岡大学に図書館があり（盛大には児童図書館もある）村民も利用できます。</p> <p>最近では、就業支援、ビジネス支援、福祉の向上、まちづくりなどを支援する図書館もあるとのことであり、滝沢村の特色を生かした図書構成や運営の検討も必要と思われる。大学図書館との連携もあるかもしれません。</p>		
図書館内の部屋	寄せられた要望・意見等	発展意見など
全 般	・目に優しい空間。	図書館は明るいことが大事。LED照明は、ちらつくので、技術革新を待たないと、図書館向きではないのではないか。アイーナは、天気が悪いと暗い。
	・飲食可能なコーナー、水分補給が可能なスペース。	
	・高い天井にしてほしい。	1階に全ての図書館を配するのが望ましい。これは利用者のユニバーサルデザインの意味でもあるが、本の返却・移動を行う運営者についても1つの階であれば負担が少ない。エレベーターを使わずに済むとありがたい。 現在は、ビチビチに書架に入れ、通路巾も狭く、書架の本の段数も高いので、広く開放感があり、見渡せる高さが望ましい。 通路巾としては、1.8m（現在は1.2m、かつては0.9m）であり、広いと車椅子ですれ違える。
	・コピー機、ロッカー、ATM等。	図書館にATM設置はしないか？複合施設としては、可能性があるかも。
	・静かなところと騒がしいところを分けるようにしてほしい。	壁、天井の材質によっては、音が響いて気を使うことになる。新聞をめくる音が以外に大きかったりする。ガラスは反響する。BGMを掛ける方法もある。
		図書館に求められる機能の一つとして「情報リテラシー育成の場」「社会問題課題解決の場」については、図書館が調査・研究・議論の場になることで、解決能力を高めようというもので、複合施設全体の「学習」や「交流」とも結びつく可能性がある。 単なる図書館から知識の中心館としてのあり方など、図書館の目的について今後さらに検討していく。複合施設の中の図書館であることの意味づけについても、同時に考えていくものである。
		図書館に求められる機能の一つとして「児童・青少年の読書の強化」「学校との連携」などがあり、現在全国の小・中学生を対象に行われる「調べる学習コンクール」には当村は不参加であり、そのような取り組み支援も検討される。
		図書館の位置を入り口近くにし、図書の表紙の配列や企画などで、複合施設の来館者の目を引く方法もあるのではないかと。
		絨毯は汚れるのでメンテナンスが大変である。子供が吐くこともある。子供が座ってしまう。
		・一関市川崎図書館(794㎡)はワンフロア。 ・金ヶ崎市図書館(1,918㎡)は立派。 ・一戸町図書館(608㎡)はワンフロア。 以上評判が良い。
	専門書は、自分で買うとなると値段が高いものであるが、そういったものも図書館に充実させてほしい。	
開架スペース	・宮沢賢治コーナーを設けてほしい。	現在もあるので、引き続き続けていきたい。
	・上田さんから寄贈された図書もたくさんあると聞くので、広く開架してほしい。	
	・滝沢村は「学園都市」を標榜しているので、大学の図書館を利用すればいいのではないかと。	・県立大、盛岡大、岩手大、看護短大と契約しており、検索でき、あるとわかると借りにいける。一般向けの本がどの程度あるのか。距離的なこと、その他で利用者は少ないと思われる。（利用者がどの程度あるかは不明） ・当図書館経由で県立図書館からの借用は多い（年100冊程度）
	・蔵書が多い図書館。	・現在の蔵書数は約63,000冊、内子供図書館開架10,000冊、一般図書館25,000冊で、開架合計は、35,000冊、かつこう号が2,000冊、残の26,000冊が開架分である。目標は10万冊程度か。 ・開架冊数としては、一般35,000冊+子供12,000冊計47,000冊から60,000冊が想定される。 ・現在、年間400万円の予算で、約2,000～2,400冊の図書を購入しており、5年間で10,000冊程度が増加することになるが、廃棄されるものもある。（新図書館を契機に予算を増額する他市町村例もある）開架数が多すぎると本を探しにくくなる。 開架数が少なすぎると何かをテーマに探すと足りず、充実して調べることができない。
	・自由に本が読めるようにしてほしい。	
	・高齢者用閲覧スペース～大活字本、拡大鏡。	書架の高さとしては、理想は1.2m（現在は2.0m）であり、一段目を空けている一関市川崎図書館の例もある。膝に負担が掛からない。車椅子は1.5m程度か。高いと届かない。紫波町の計画中の図書館では(1,200㎡)、書籍数を稼ぐため、壁の部分は8段(2.4m程度か)にしたいとのこと。低いと死角ができにくく、防犯や病人(倒れている)も発見しやすい。地震の際、本が落ちにくく、安全性も増す。リアスホール(大船渡市立図書館)では、かなり高くしている。
	・点字図書コーナー。	
	・IT化。	
	・RFID(ICタグ)による管理をしてほしい。	ICタグについては、県立図書館で使っている。たまに誤作動がある。他の館では盗難が問題になっているところもある。当館では盗難はない。顔見知りであるような、人とのつながりを大事にするという図書館のあり方もあるのではないかと。
	・検索システムの導入(関連図書がリンク)。	オーバック(検索機械)を置く。
	・自動貸し出しマシンの設置。	
	・電子辞書を充実させてほしい。	
	・本販売や斡旋をしてほしい。	
	・本のソムリエが居るといい。	
	・ある施設の図書館のように静寂性を重んじすぎると子どもを連れていけない(ある施設はコンクリートの打ちっぱなしのためよけい音が響くということかもしれない)。	
	雑誌コーナーは現在17種類の月刊誌である。週刊誌は普通置かないことが多い。雑誌はきりがいい面があり今程度でもいいのでは。	
	配架(本の置き場所を決めること)は、コンビニのような考え方があり、小説のような人気のあるものは、奥に置く方法がある。	
	受付カウンターは、図書相談、レファレンス(調査に必要な本の紹介)、リクエストに応える。他に、図書館通帳をおこなっているところがある。年100万円程度の機械のリースと通帳1冊200円程度の経費がかかるが、こども、大人とも借りることの楽しさや、過去の履歴を見れたり有意義と思われる。	
	閲覧コーナーや学習コーナーは窓際の明るいところに配置し、本棚は離し、紫外線から守るのが一般的。ガラスはUVカットガラスを使う行うのが一般的。	

居室カルテ（図書館）

	ボランティアベース	・修理ボランティア ・読み聞かせボランティア	
閉架書庫			現在、26,000冊の閉架分のうち、約20,000冊については、閉架書庫（ハンドル式移動書架、約50㎡）に収納されている。 閉架書庫の書架が多すぎると、本を探しにくくなる。 閉架書庫に利用者を入れている矢巾町の例もあるが、挟まれる事故の危険性を排除できない。 (電動で停止するものもあるが)
視聴覚室	全般	・防音効果のある部屋としてほしい。 ・ネット会議室(マリオス8階のような。)	
	インターネットコーナー	・持ち込みパソコンを使用できるコーナー	
	ビデオ・DVDコーナー	・目に優しいようにしてほしい。 ・多様な視聴覚備品(スクリーン、プロジェクター、暗幕、黒板、パソコン、DVD、テレビ、音響等)。	
	ミニシアター	・防音設備。 ・200人程度の規模。	多目的室として兼用できるとよい。
児童スペース	子供用ビデオ鑑賞ルーム	・ディズニー、ジブリなどを扱ってほしい。	図書館でDVDを購入する場合、著作権の関係で、1枚数万円以上掛かることも珍しくない。ディズニーやジブリだと高額である。
	子供用閲覧コーナー	・読み聞かせスペースが必要。	多目的室として兼用できるとよい。
郷土資料スペース		・郷土資料室を設置してほしい。 ・地域資料コーナー(簡単な)。 ・地域同人誌・冊子コーナー。 ・貸し出しできない資料のコーナー。 ・学芸員を常駐してほしい。 ・ふるさと史料館が各市町村にある。当村にも昔からある貴重な史料があり、その展示をしてはどうか。 ・郷土史研究のための部屋を設けてほしい。	
学習室		・個人学習スペースを設けてほしい。	閲覧コーナーや学習コーナーは窓際の明るいところに配置し、本棚は離し、紫外線から守るのが一般的。ガラスはUVカットガラスを使う行うのが一般的。 高校生を中心に利用がある。時期により上下がある。お盆前後がピーク。
多目的室			ガラス張り防音の多目的室を図書館内に設け、お話し、読み聞かせ、ミニシアターなど多用途に使ってはどうか。外から見えることで興味を喚起する。 冬期間は、高校生の学習者が増えるので、ここを臨時学習室にすれば、通常の学習室の席数を少なくできる。 ミニシアターは、現在は、16ミリを使っている。
グループワーク室		・複数人で研究できるようにしてほしい。 ・若者が自由に話しながら仲間と閲覧できるスペース	
作業室 (バックヤード)			バックヤードは、修理のため必要である。

やりたいこと、知りたいこと、利用方法・され方〔やりたい・知りたいこと、いつ、どこで、だれが、なにを、どのようにするか〕、その他反対意見など

湖山図書館の現在から見えること

- 〔基本方針〕
①住民に親しまれるとともに多様なニーズに応える図書館をめざす。
②乳幼児から児童・生徒、成人、高齢者までに対する、学習機会・学習活動の場の提供を行う。
- 〔重点施策〕
①利用者の求める資料を確実に提供できる図書館
②暮らしの中の疑問が解決できる図書館
③全ての情報・知識への入り口となる図書館
④子供へのサービスを重視する図書館
⑤滝沢の過去を知り、現在を知り、将来を考えていくことのできる図書館
⑥住民と図書館員とが共に作り育てる図書館

閲覧室は？

- ・12席が別室で配置され、番号札で管理している。
- ・年配者、中学生、高校生が自習で使っている。
- ・現在の施設だと20席程度あれば充足するのではないか。
- ・暑いときは、エアコン目当てもある。
- ・書架巾の現状は、1.2メートル(書架の端と端)。芯と芯で1.8メートル。
- ・書架高さは、2.1メートル(6段)。
- ・書架の並びは、90センチ巾のものが最大9書架並んでいる。

蔵書は？

- ・貸し出し数は、年当り延べ10万冊である。
- ・内5千冊は団体貸し出しであり、福祉施設、小中学校などで、24団体がまとめて借りている。(団体貸し出し用は、別にしている市町村もあるが、滝沢村は閉架書庫からの貸し出し)。
- ・大活字本は増えている。
- ・市町村制限なし(盛岡市と同様)。盛岡市民の利用が増えている。
- ・利用者数は、鶴岡地区の次に菓子・川前地区が多い。

機械は？

- ・検索機械は大人用1台、子供用1台。並んでいることはない。
- ・インターネット1台。30分制限。だが、そのまま使っている。

他市町村は？

- ・蔵書冊数を人口を割った滝沢村一人当たり冊数は1.2冊で最下位。県平均は3.6冊である。(ちなみに54,000人に3.6冊を掛けると19万冊になる。)
- ・図書館購入費(年あたり)は滝沢村一人当たり85円(全体で460万円)。県平均は173円。専任職員は滝沢村1名、県平均2.1名。
- ・6万冊程度の蔵書数を持つのは東和図書館(5.9万冊)、雫石町図書館(6.3万冊)、岩手町図書館(6.6万冊)、岩泉町図書館(6.3万冊)。
- ・人口同程度では、大船渡市図書館(4.1万人、14万冊、年購入費920万円、専任3人)、釜石市図書館(3.9万人、12万冊、500万円、6人)、宮古市図書館(5.9万人、9.3万冊、880万円、3人)、久慈市(3.7万人、9.3万冊、410万円、2人)
- ・一人当たり年間貸し出し数は、県平均4.0冊、県目標値4.0冊、滝沢村は1.9冊。

その他(新聞閲覧の時・・・、読み聞かせのとき・・・など)

- ・新聞をめくる音は思ったより大きく、各図書館等も苦労している。図書館の外のロビーに置く方法もある。
- ・親子読み聞かせ会を月1回行っているが、少人数である。読み聞かせ室を子供図書室の中に設ける。関心と呼ぶようガラス張りがよい。
- ・大きい読み聞かせ会は年3～4回、30～40人で行っており、図書館外の会議室等で良いと思われる。16ミリのミニシアター(20人程度)は公民館で月1回(ふるさと交流館で月1回)行っており、こちらも同様である。

湖山図書館の将来像は・・・

- 〔基本方針〕
①親しみやすい図書館、敷居の低い雰囲気演出、開放的 多様なニーズに応える。各種サービス(開架本の充実、貸し出し以外のサービスの充実)
②児童図書室、読み聞かせコーナー、大活字本など
- 〔重点施策〕
①資料コーナー
②本の充実、レファレンスの充実(人材の充実)
③入りやすい雰囲気(複合施設の中にも図書に興味を持つ演出)
④児童図書室の充実、キッズコーナーなどの連携
⑤村の情報発信コーナーとの連携
⑥図書館員数の充実

〔これからの図書館の重要な視点〕

- ①本を利用する場所から情報を利用し自らの課題を解決できる場所への変化
⇒市民活動支援センターとの連携
⇒産業雇用創造センターとの連携
- ②多種多様な情報を利用した、様々な利用者の活動への支援
⇒各室(ホール、ギャラリー、調理室、活動室、キッズルームなど)を使っている活動の支援
- ③世代を超えた情報利用の促進
⇒情報掲示板との連携

開架数は？

- ・開架数は、大人50,000冊、子供10,000冊、目標10万冊を当面の数値とする。
- ・閉架数は、可動式の書架(手動または自動)とし、40,000冊を当面の数値とする。
⇒担当課(生涯学習課)で吟味する。

閲覧室は？

- ・椅子の利用を考えると高さ1.2m、通路巾で1.8mが理想的であるが、蔵書数から全てこれで行うことは困難であり、県立図書館などでも、芯芯で巾2.1メートル、高さは2.2m(児童は1.0m)である。
- ・椅子利用では、届かなくても、ラベルが見えたと取ってもらうことができ、現場で見ると2m程度では問題無いようである。
- ・成人書架と児童書架では、高さが自ずと違うこと、成人書架でも雑誌類などや、高いものと低いものをバランスよく配することで、開放感を出すなどの方法もある。
- ・椅子(椅子自体は65cm)は巾80cm取ることとしており、椅子同士がすれ違い可能性はかなり低いことから、人とのすれ違いができれば十分である。
- ・天井は図書館の場合事務室(公民館事務室の場合2.7m)より少し高いのが一般的である。

たたき台の作成

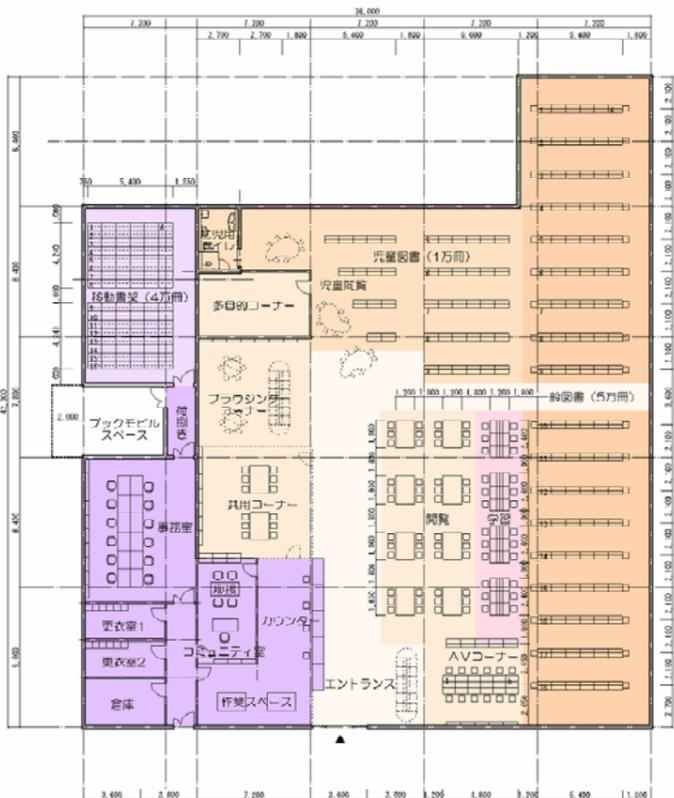
- 開架書庫(開始時大人書架5万冊、子供書架1万冊、将来10万冊)
- 閉架書庫(可動式4万冊)、閲覧・学習室(50席)
- ⇒これら仮の数値をもって、たたき台を作成！(スケール感を認識する)

- ・奉仕人口、閲覧・学習席数、冊数(大人、児童)、児童室の配置方法、職員数(事務室人数)、各必要室(修理室など)、各必要コーナーなど
- ⇒担当課(生涯学習課)で検討。

居室カルテ (図書館)

たたき台の作成

◆CASE-A 書架間寸法2.1m (床面積: 1,255㎡+34㎡=1,289㎡)



◆CASE-B 書架間寸法1.8m (床面積: 1,131㎡+ブックモビル60㎡=1,191㎡)



区分	計画案			実例			
	CASE-A (書架間2.1m)	CASE-B (書架間1.8m)	CASE-C (書架間1.8m)	〒7市立図書館	室蘭市立図書館	伊達市立図書館	山形市立図書館
観覧用床	10,07㎡	10,07㎡	10,07㎡	9,97㎡	9,67㎡	10,37㎡	10,27㎡
一般書エリア	329.0㎡	319.0㎡	329.0㎡	319.4㎡	349.0㎡	329.4㎡	329.4㎡
児童書エリア	167.0㎡	167.0㎡	167.0㎡	311.0㎡	194.4㎡	232.0㎡	126.0㎡
移動用書架 (高書架7段・D265 W900)	30.2㎡	30.2㎡	30.2㎡	30.0㎡	21.6㎡	21.6㎡	22.0㎡
児童用書架 (高書架3段・D250 W900)	48.0㎡	48.0㎡	48.0㎡	11.94㎡	11.94㎡	11.94㎡	211.14㎡
多目的コーナー (学習コーナー)	51.8㎡	51.8㎡	51.8㎡	39.4㎡	129.9㎡	79.9㎡	39.1㎡
プラウジングコーナー (多目的コーナー)	51.1㎡	51.1㎡	51.1㎡	103.7㎡	64.8㎡	62.1㎡	97.8㎡
AVコーナー	34.2㎡	34.2㎡	34.2㎡	103.7㎡	129.9㎡	49.0㎡	120.0㎡
その他 (読書 ソファ等)	162.6㎡	178.0	150.0㎡	362.9㎡	194.4㎡	146.6㎡	106.6㎡
管理エリア	211.2㎡	211.2㎡	211.2㎡	267.9㎡	237.6㎡	282.0㎡	286.0㎡
管理用書架 (高書架6段・D250 W900)	83.0㎡	83.0㎡	83.0㎡	256.4㎡	43.2㎡	283.5㎡	60.0㎡
トイレ	0㎡	0㎡	0㎡	11.94㎡	43.2㎡	72.0㎡	19.4㎡
学習室	45.7㎡	45.7㎡	45.7㎡				
図書エリア合計	1,255.0㎡	1,131.0㎡	1,185.0㎡	2,202.2㎡	1,700.4㎡	1,373.0㎡	1,540.0㎡
ブックモビルスペース	34.0㎡	60.0㎡	34.0㎡				

- 凡例 —
- 書庫・共用 関係
 - 管理 関係
 - 一般書エリア
 - 児童書エリア
 - 書架付属関係
 - その他共用エリア
 - ベンチ・ソファ等
 - 管理諸室
 - 児童書架エリア
 - 閉架書架エリア
 - その他
 - 学習室
 - トイレ
- 条件 —
- 一般用書架 (高書架6段・D250 W900)
 - 児童用書架 (高書架3段・D250 W900)
 - 移動用書架 (高書架7段・D265 W900)
 - キャレルデスク W800
 - 閲覧用机 (1800×1200 6人用)

◆CASE-C 書架間寸法1.8m (床面積: 1,185㎡+ブックモビル34㎡=1,219㎡)



- 凡例 —
- 書庫・共用 関係
 - 管理 関係
 - 一般書エリア
 - 児童書エリア
 - 書架付属関係
 - その他共用エリア
 - ベンチ・ソファ等
 - 管理諸室
 - 閉架書架エリア
 - その他
 - 学習室
 - トイレ
- 条件 —
- 一般用書架 (高書架6段・D250 W900)
 - 児童用書架 (高書架3段・D250 W900)
 - 移動用書架 (高書架7段・D265 W900)
 - キャレルデスク W800
 - 閲覧用机 (1800×1200 6人用)

以上の結果、

概ね1,200㎡で、児童開架 1万冊、一般開架 5万冊、閉架書庫 4万冊 計10万冊 収容可能である。

詳細は、カルテ資料 (図書館) を参照のこと。

これをベースに施設規模見直しにより、多目的コーナーを複合施設と兼用にしたり、図書館内の管理部分、共用部分の面積縮小により、約1,000㎡とする。

居室カルテ（ホール）

■所要室の必要条件の整理

施設分類	ホール	
用途（部屋の役割・目的）		
<p>ホールには、「音楽ホール」としての劇場の一面と（可動席にした場合のみですが）席を収納した場合の「広い屋内スペース」としての一面があります。</p> <p>ホールは、一般的に建設費が高く（天井が高いこと、外部との音の遮断が必要なこと、音響や見かけの点から内装やイスが吟味されていること、広いステージが必要なこと、音響・照明設備などが充実していること、ピアノの設置、など）、管理費が高い（面積が大きく光熱費がかかること、音響・照明等の専門機器、ピアノなどの保守点検費がかかること、など）という傾向があり、その建設には慎重な検討が必要です。</p> <p>音楽ホール専用施設（固定席）では、利用率がどうしても低くなってしまいう傾向があります。</p> <p>ふるさと交流館にみるような可動席のケースでは、フロア部分での会議やパーティー、ダンスや太極拳などの軽運動、子ども会行事などの活動など利用率が大きく上がります。なお、可動席は電動で短時間でセッティング可能な、使い勝手のよいものがあるようです。</p> <p>音楽ホールは、ステージの大きさ、客席数などは、こういった用途にしたいかをより検討する必要があります。</p> <p>音楽ホールは、音響効果、照明効果、ステージなどの専門的要素があり、利用者や舞台関係者の意見を聞くことが重要と思われる。</p> <p>ふるさと交流館のホールとの機能分担についても検討する必要があります。パーティー、レセプションの機能への対応をどうするかも検討しなければなりません。床材の選定も重要です。</p>		
ホール、附属設備など	寄せられた要望・意見等	発展意見など
ホール	コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> ・ホールを使って何をしたいかの村の意志が最初にあるべきではないか。 ・村として、音楽のまちづくりをしたい、一流の音楽を村民に聞かせたい、などの強い思いはないと思う。また村民の文化ホールへの強い要望が過去からあったということはない。 ・音楽や演劇に村長が関心があるというのあまり聞いたことがない。 ・村民が使いやすいものをというのが率直な気持ちではないか。 ・使っている人の声も大事にしたい。
	席数、大きさ	<p>【大ホールへの期待と現実のギャップ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首長とか強い思いで音楽の町にしたい、子ども達や市民の文化レベルを上げたい、と立派なホールを作り、最初の内は予算も付き、関心も高い。市民の中でも強い思いが湧きあがり盛り上がることもある。ただし、それが維持できない場合が全国的に多く、それが箱物批判に繋がっているのではないか。予算などもだんだん減って、ホールが活用しきれていない例は多いのではないか。 <p>【村内の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと交流館（可動席＋平土間席 計350席）でも満席にならない。 ・800席は明らかに大きすぎる。 ・一方800席は国の文化補助事業は、800席以上に対して行っている。その他の助成金も800席以上というのはままある。 <p>【ホールと興行】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと交流館のタイプだと、知名度のあるものは呼べない。 ・コンサート、演劇などプロについては、盛岡市の施設や県民会館などで行っているので、当村であえてプロ向けの施設を作る必要はないのではないか。 ・プロの公演を前提とするかしないかで、ホールや付帯施設の作り方は変わってくるのではないか。 ・当村の場合、近隣市町村との棲み分けを考慮し、鑑賞型より参加型のホールを目指した方がいいのでは。 <p>【村小学校音楽会、多くの席を必要とするもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年秋に総合公園体育館で村内小学校の連合音楽会が行われ（3、4年生中心で、昨年は10月27日平日に約600人の生徒が参加、ベタ座りで、父兄などの参加も200人弱（2F席）いたようである。）、婦人団体などの説明会の中でも、体育館で行うのは、音質やイスなどの面がかわいそう、ちゃんとしたところで発表させてやりたいとの意見があった。 ・その他、成人式では、成人469人（H22）、父兄・関係者合わせて800人程度。 ・中学校3校による吹奏楽ジョイントコンサートをH22（10月の土曜日）に県立大学ホール（講堂）（664席の固定席）で行った（参加生徒140人、観客約250人）。H23（6月の土曜日）については、プラス小学校2校をし総合公園ロックガーデンと広場で行った（参加生徒228人、観客約500人）。ロックガーデンで行った理由の一つに、前年のホールでは音響が良く実力の差がはっきり出たため、次回は出たくないなどの意見があいついだことがある。屋外コンサートは結果的に、開放的な雰囲気や回りの緑地ともあいまって、非常に良かったとの声が多かった。 ・これ以外に、ふるさと交流館で入りきらないので、他でやっているものは無いようである。（他施設の調査必要）
	頻度と大きさ	<ul style="list-style-type: none"> ・採算性を考えた場合は500席は少ない。採算は1,500席ないと取れないと一般に言われている。大きな事業を呼ぶ場合、席数がないと（チケット代で）回収できないので小さいホールでは大きな事業ができないことになる。大きな事業としてはオーケストラが一般的だが、オーケストラ自体は集客が全国的に落ちており興行が難しい。
	広域の見地より	<ul style="list-style-type: none"> ・ホールは800席は欲しい。中学生の音楽発表会でそれくらい集まる。ふるさと交流館はもっと大きなホールを期待していた。
	大きさゆえに...	<ul style="list-style-type: none"> ・少ない頻度のものをどう考えるかではないか。年に何回も無いものに固執すると大多数にとって使いにくいものになるのではないか。 ・大は小を兼ねないことを理解する必要がある。 ・小ホールを固定席にして（盛岡広域にない）、ステージや照明、音響なども質の高い物にすれば、利用価値は高いのではないか。盛岡市をはじめ、他からも来るような気がする。 ・小ホール2ホール体制なども選択肢として考えていいのでは。先入観に囚われず検討することが大切ではないか。
	村内活動団体	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の幼稚園では県民会館の大ホールで行事を毎年行っている。県民会館は、県民のための施設であり、合同音楽祭などでは県民会館を使ってもいいのではないか。 ・県民会館の使用料と、バス代を村で全てみても、大ホールを維持する費用の何十分の一で済むはずである。 ・盛岡市立のホールは、利用率が高く、予約しにくい。
	多目的ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・立派な施設は他にもあるので、地元の人が使いやすいものがないか。 ・結婚式や会議にも使えるようにしてほしい。（多目的ホール） ・必要に応じて区切るなどの装置を導入してほしい。 ・床にラインを引いてバスケットボールも行えるようにしてほしい。 ・イベント・大会に使えるようにしてほしい。小さい規模でも使いたい。 ・多目的ホール（700㎡）

居室カルテ（ホール）

ホール、附属設備など			
ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・せり出し舞台が欲しい。常設でなくても、舞台の下から出るとか、床から出る方式でも良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・舞台のランクはワンランク上のものというのが多数の気持ちだと思う。ふるさと交流館の機能は、必要最小限である。 ・ふるさと交流館では、照明や音響を持ち込み、発電機を持ち込んで行う場合もある。 ・ふるさと交流館では、ピアノなどの発表会で反響板をよく使う。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・照明、音響、楽屋の仕様をふるさと交流館より上げてほしい。(特に照明) 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・袖の空間と高さが重要である。 ・搬入用のトラックを舞台に横付けできるようにしてほしい。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・吊りものは電動と手動を使い分けると安価にできる。電動は高額(手動の10倍。物によって何百万もかかる)ではあるが、ライトなどは安全上電動である必要がある。一方幕などのバトンを手動でよいと思う。バトンとバトンの間は巻き込み防止のため安全巾がある。搬入口に11トントラックが入りやすいこと、舞台の袖が広さと高さがあること、スイッチの場所などがポイントになる。 ・照明が明るいものにしてほしい。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽家からホールの音響のよさや舞台装置で選別されることがあると聞くので、吟味すべきものは吟味して、必要な部分にはお金をかけるべきだと思う。 		<ul style="list-style-type: none"> ・矢巾町の田園ホールは音楽ホールである。町長がオペラの町にしたいという構想があったようだ。 ・ふるさと交流館の音質は良いとの評判である。残響時間が2.0秒であり、トップレベルである。実は設計時点で、照明と音質のレベルを上げたいとなった時、予算の関係で音質を取った経緯がある。これで1.5秒から2.0秒に向上させた。(ちなみに、残響時間2.0秒は最高レベル(世界)という人もいるようである。) ・音質がいいとプロの歌手に褒められたことがある。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ステージを切り詰めると結果的に使えないものになるので注意が必要。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・住民が使いやすいホールにしてほしい。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと交流館の場合、要望を聞いていいたら、最終的には当初予定したものよりかなり大規模なものになってしまったとの反省ある。 ・希望に対し、ストップを掛けられるのか。(芸文協の説明会でも立派なものを希望する声が聞かれた。)
	<ul style="list-style-type: none"> ・利用料金を低くしてほしい。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと交流館の倍の面積にすれば、料金も倍になる可能性が高い。ふるさと交流館は、他の施設に比較して割合安いということで、利用率の高さに貢献している面がある。高くなれば、村民は誰も利用できないのではないかな。
	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネルギーに配慮してほしい。 ・お山の湯や馬コホールは指定管理者になってサービスが変わったと思うが、管理はどうするのか。 ・開館時間は、時間の余裕が欲しい。仙台には10時頃まで貸し出している施設もある。部屋などによってエリア分けして12時までとか開放するというのはどうか(若者の活動などへの)。 ・イベントプロデューサーを確保してほしい。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・控室 ・リハーサル室 ・舞踏室 		<ul style="list-style-type: none"> ・鏡を設置してほしい。 ・設置してほしい。

大きさ・規模について（客席部分）

比較検討

移動席として

- ・移動席(ロールバック、電動などで収納場所(通常背面)から出てくるもの。ふるさと交流館方式の利用率は盛岡周辺の固定席に比較して著しく高い。それからすると移動席は外せないのではないかな。
- ・移動席の弱点としては、歩いたときに揺れることがある。移動席の席数が増えるほど移動席最後部が高くなり延長も長くなるから、より揺れが気になるのではないかな。
- ・公演中に移動する人(遅れてきたり、トイレなど)がいると、歩行音がすると、興奮になる可能性がある。(静かな演奏時など)
- ・ふるさと交流館では、移動席を出してきて前の方が余るが、パイプイスでは移動席よりグレードが下がるからそれを嫌ってパイプイスを出さないことが少なくない(座る人も嫌がる)。場合によっては、ステージを使わずフロアで公演することがあるほどである。
- ・固定席の場合最初の数列(田園ホールの場合は21列の内の9列)は傾斜があまりなく、その後上がってゆく。後ろから出てくる可動席は構造上直線的に上がっていくので、ステージ近くまで移動席が来ると、席側からはステージ全体が見難く、ステージ側から見ると圧迫感があると思われる。そのためかステージ下から出てくるタイプの移動席もあるようで、その部分はフラットとなると思われる。
- ・アイーナの507席の場合は、パイプイス232席(移動席と同種のデザイン)、可動席275席である。
- ・移動席は固定席に比較して2割程度面積をとる。

平土間として

- ・平土間があるかどうかで、3倍は利用率が違う。
- ・パーティーでは、100~200人の収容が必要であり、ふるさと交流館では小さい。
- ・ふるさと交流館で行われているダンスパーティを見ると狭いようである。
- ・ふるさと交流館の平土間は約300㎡である。
- ・大ホールは天井が高いので、本格パーティーとしては不向きであると思う。あくまで、臨時的利用である。

固定席として

- ・固定席の場合手間いらずであり、座り心地も良く、単価的にも移動席より安価である。
- ・矢巾町の田園ホールで800席のところ200人弱の観客で矢巾町民による管弦楽の演奏会が行われ、よい演奏会であった。席の埋まらなさも拍手が響いて気にならなかった。
- ・洋野町のホールの例として、両脇にせり出した2F席があり、外側に座席、内側が立ち見席になっており、使い勝手が良さそうであった。

文化事業として

- ・滝沢村の場合、文化事業に対する経費が少ないと思う。
- ・800席を満席にする興行は、一般的に200万円程度の経費がかかる。
- ・フラット(平土間)を活かす興行というのものもあるかもしれない。
- ・同規模の市町村で、固定席の一定規模のホールを十分に活用し、地域文化の向上にうまく寄与していると感じられる例も、数は少ないが見受けられる。

・ホールの大きさについては、これまで寄せられた意見や発展意見(第1回WS)など踏まえ、小ホールや既存ふるさと交流館などの周辺ホールも含めて、ホール機能の構成、すみわけを検討!!!

小ホール・大ホール、小ホール・中ホールなど、4つくらいのホールの組み合わせを考え、周辺施設との棲み分け、コンセプトの検討する。ない、検討ケースには、次のケースを含め検討する。

- ①固定席ホール(特に小ホール)
- ②800席など多い席数対応のホール
- ③参加型ホールを重視
- ④小ホール×2つ

条件整理

- ・基本は移動席とするが、全て移動席とすると、見易さの問題、揺れの問題、1席当たりの面積の点から効果的でない。
- ・平土間として、ふるさと交流館では足りない分の面積を確保すること。
- ・席数について、800席は一部の強い要望があり、数は少ないが小学校合同音楽祭など体育館で行われている。
- ・当初500席の可動席で年に数回パイプイスにより800席的な考えがあったが、500席の可動席は、規模が大きすぎて問題が感じられた。(揺れ、出し入れなど)パイプイス800席についても収納・手間などの問題がある。
- ・800席については工事費もさることながら、管理費や使用料が高くなることから、村としての文化への覚悟が必要と思われる。(使用料金を抑える、文化事業を一定程度行う、村民の文化の盛り上げを意図していく、など)
- ・規模や工事費からも、ステージ、音響効果などが一定程度充実していないと生きてこない。

方向性

各CASEは、「カルテ資料[ホール ~ホール組合せ~]」の資料参照。

- ・ふるさと交流館との棲み分け、特徴あるものとするため、平土間面積約300㎡よりも大きな面積とした、社交ダンスやスポーツ利用可能面積、約500㎡程度とする。(参考: 武道系コート2面確保可)(CASE4参照)
- ・前方部はステージ下から出てくるタイプの移動席か、スタッピングチェアでもグレードの高いもの、中間部は後ろから出るタイプの移動席(ふるさと交流館に同じ)とし、平土間部分でイベントをしているときでも観賞できるように、2階部分の両サイドに立ち見スペースなど、今後の検討。(CASE1参照)
- ・CASE1の場合、この例では平土間が520㎡となる。なお、CASE3も移動席を用いた800席であるが、ステージが広く取れず、ふるさと交流館のステージが狭いということの改善にならないことから、採用しない方向。
- ・平土間として約500㎡とすると、席数は約600席程度(2階席を設ける場合は、事例より約800席程度)が想定される。

居室カルテ（ホール）

大きさ・規模について（その他の意見など）

座席配置

・矢巾町田園ホールで1階のみの800席であった。盛岡市文化ホール(1,500席)の一階席が900席であるが、田園ホールの方が、ステージとの一体感が感じられた。座席配置の傾斜や配列(矢巾の方が横に長い)、天井の形など、いろいろな要素が関係してくるようだ。その点では800席でも特に大きくは感じなかった。

大ホールの料金設定

・ふるさと交流館の料金を設定したときは、他施設を参考に建築費や駅からの距離などで計数化したり、同等施設(姫神ホール、野菊ホール)との比較において決定した。
・ふるさと交流館は機材をまとめて料金設定しているか、一ヶヶの所が多く、その場合、後からの精算になったりして非常に面倒である。
・ふるさと交流館でも準備まで含めて15万円程度が掛かり、マリオスの大ホールだと30~50万が掛かる(特に演劇の場合、大道具など拘束時間が長くなると思われる。)

楽屋について

・ふるさと交流館で不満がある部分として、楽屋がホールに接していない点がある。楽屋と活動室の兼用はあまり望ましくない。リハーサル室については、舞台近辺であれば、兼用可能と思う。楽屋は狭くてもいいので、舞台裏機能として、単独設置が望ましい。
・楽屋内の仕様については、マリオスにあるように化粧鏡と化粧台が壁面に連続しているタイプがいいと思う。床は畳でもフローリングでもよい。2部屋を使い分けることも可能。
・演劇の利用例としては、男女の大人、こども、スタッフの控え室として、4部屋あると使いやすい。ふるさと交流館を実施する際は、大人の男性と、女性+こどもキャストで、学習室を拠点にして入れ替わり使用し、スタッフは和室を拠点として使用している。
・新施設でも、スタッフが和室などの活動室を拠点として利用することは可能だが、連絡が多いので、舞台近辺でないといけない。
・シャワー室は、1箇所でも良い。別用途でもあれば、それを利用することでも良い。
・楽屋には、ホールの様子を観るためのモニターが必要である。

成人式の近年の傾向

・成人式については、対象者は減っているが参加率が増えているのと、父兄の参加も多いことから、800席では収納しきれないと思われる。手間が掛かったとしても**年に一度のこと**であり、体育館で引き続き行うことでいいのではないかと。

倉庫について

・倉庫は、ピアノ以外に道具庫のスペースが必要。ピアノ庫は、空調管理を必要とするので、個室とする必要がある。活動室のピアノ室を活用することも考えられる。道具庫は大きいほうがいい。一般利用にも貸し出しできるように、ホールとしてある程度の舞台道具を揃えておく方が利用幅が増える。

小ホール都会へ...

小ホールについて

・さくらホールの小ホール(平土間、220㎡)は評判が良く、利用率も一番高いとのことであった。
・胆沢文化ホールの小ホールは多目的ホールであり、ステージとして小さいものであるが自動で昇降する。幕なども付けられ、あれはあれで使いやすいのではないかと。
・大ホールは通常のホールとすると、小ホールは明るいホールにしてはどうか。パーティーなども行いやすく、屋外一体としても使え、ふるさと交流館とも差別化できる。

舞台構成（ステージ機能）について

舞台の間口・奥行きについて

・緞帳より客席側の舞台スペースがふるさと交流館は少ない。ある程度(歩いて行き来できて、スタンドを立て司会などするイメージ)の奥行きがほしい。(文化スポーツ課)
・県民会館中ホールの寸法はふるさと交流館と近似しているが、県民会館中ホールは、舞台機能としては評判が良い。(背景として、館内に大ホールを有していることや、舞台機構・設備の改善も行っていることなど)
・舞台間口、奥行きがあると、演じる側にとっては、魅力的であるが、それに伴い、サスペンションライトももっと増えることになる。基本的には、3mに1本必要となる。

ふるさと交流館はプロセニウム間口、高さに対して脇舞台スペースや舞台奥行き照明ボタンが不足している。プロセニウム間口、高さを更に大きくすると、それを満足するために各スペースを確保していくのは大変なので、まず優先することは、**ふるさと交流館並みのプロセニウム間口、高さとして、これに対する十分な脇舞台スペースや舞台奥行きなどを確保するのが良いのではないかと？**

ふるさと交流館の間口12mは適度な寸法である。奥行きと寸法は、間口と同じサイズまで確保するのが理想的とよく言われる！

交流拠点複合施設においては、間口12m、高さ6mで、奥行きは間口と同じ12mとする。

舞台機構について

・舞台内の背部に Horizont 幕と舞台背面壁面に下手と上手をつなぐ通路を設定については、通路を使うより、機材を配置するスペースとして活用したい。せっかく奥行きのスペースを確保するのであれば、通路ではなく、ほかの用途に使いたい。Horizont 幕背部を移動するのは、足音など聞こえないか心配になる。舞台背面の廊下は上演中の移動通路として有効である。
・資料案による吊り物は、電動としているが、ふるさと交流館の各ボタンは手動であり、あまり電動にこだわらない。それよりは、サスペンションライトやボタン数を増やすことを優先し、次の段階として、電動や自動停止機能をどうするかという順序で検討していくのが望ましいと思う。特にボタンの電動昇降は、作動音がありかなり気になるし、ボタン数については、少ないと利用率も少なくなる恐れ(使い勝手が悪くなる)があること、手引きは安価であることから、今後、要検討項目である。(最低でも8本以上)
・電動式は、ボーダーライト、サスペンションライト、アッパー Horizont ライト、音響反射板、Horizont 幕、大黒幕など最小として、多くを手綱・手引き方式による昇降、開閉にするのがいいと思う。
・暗天幕については、あまり必要性を感じない。暗天幕を固定せずにボタンを追加するほうがいい。
・電動スクリーンは、価格や設営(昇降)時間がかかることから、Horizont 幕で併用するのがいいと思う。
・緞帳は非常に高価なものなので、要注意の物。選択のしかたで大きくコストに影響する。
・学校の演奏会(吹奏楽)などの利用ができる舞台とするのが良いのでは。ふるさと交流館では演奏会はしていないので、演奏会をできるようにするのは機能としては、棲み分けができるのではないかと。

舞台機構については、本日の意見に引き続き、プロポ以降も、詳細設計を行いながら、意見を聞いていく。

これまでの意見のとりまとめ

舞台関係緒元

・ホール客席については、平土間500㎡程度を確保し、客席数はスタッピング+移動席の構成とし、500席~600席程度とする。(席数に幅があるのは、座席幅などにより増減があるため。)

・舞台間口12m、高さ6m、奥行き12mとし、舞台袖、脇舞台もできるだけ確保していく。

・その他、すのこ高さは、プロセニウム高さや吊り物により設定し(今回の場合だと概ね8m~10mの物を吊り上げられる高さを確保していく。)、すのこ上部は、歩いてメンテナンス可能なスペースを確保する。

居室カルテ（全体・その他）

■所要室の必要条件の整理		
施設分類	施設自体・その他に関すること	
用途（部屋の役割・目的）		
<p>■避難所機能 交流拠点複合施設は、村の核となる施設です。村役場と隣接しており、災害時においても村役場タイアップした避難所機能を有することが必要となります。</p> <p>■温泉の機能 寄せられた要望・意見のなかには、温泉の機能というものもありました。</p> <p>■その他</p>		
寄せられた要望・意見等	ポストイット意見	発展意見等
<p>■避難所機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人対応型（障がい者の中には団体で行動できず、不安を感じ騒ぐ人がいる） ・災害用備蓄倉庫を設置してほしい。 ・避難所開設に対応できるようにしてほしい。 ・災害時のためのシャワー室、炊き出し用備品、ポータブル畳、貯水設備等の設備がほしい。 <p>■温泉の機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間誘導を行って施設を充実してほしい。 ・足湯を設置してほしい。 <p>■配置、土地利用計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物の出入り口がたくさんあるといい。 ・屋外（子供用の公園が少ない。子どもを遊ばせる施設（遊具）がほしい。 ・駐車場は、広い方がいい。（トイレもそこに設置するとよい。） ・周辺道路から出入しやすくしてほしい。 <p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソーラーを設置した方がよい。電機の節約にもなり、収入にもなる。そういった収入まで考える必要がある。 ・団体活動のみではなく、個人で使用する人にとっても魅力的な施設にしてほしい。 ・施設の使用料は、低料金か今までどおり無料にしてほしい。 ・宿泊施設がほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に避難所となる設備 ・避難所としての機能充実 <ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全・明るい場所 ・待ち合わせ場所。夜遅くまでオープン。誰でもOK。静かな場所とワイワイの場所を分ける。 	
<p>■産業雇用創造センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品加工施設について、加工の免許をもっている人は、個人でとって個人で登録をしている。今回計画している施設については、何人もが1つの場所に登録するような形をとるのか？どうなのか？例えば、ユートランド姉妹のような複数の加丁者が参加できる経営形 ・食品加工施設の利用料金は無料、または低料金にしてほしい。 		<p>→部屋は運営とセットで</p> <p>運営の方法をもっと考えていくべき 学生も来やすいような交通の便を考えてほしい。 夜間シアター（映画鑑賞）など、夜、壁面などを利用して映画を上映すれば、メッカになるのではないかと（ステラモンテでは、酒を飲みながら観賞できる。）</p>

やりたいこと、知りたいこと、利用方法・され方〔やりたい・知りたいこと、いつ、どこで、だれが、なにを、どのようにするか〕、その他反対意見など

土地利用計画について

■役場への出入、複合施設への出入

- ・役場への出入については、交差点が分署の部分に新設されたとしても、現在のT字路から出入りできるようにしないと問題がある。北方面から来る人が多く、新設交差点を経由して裏へ回るようでは、遠回りとなり、批判を浴びるだろう。
- ・既存のT字路部分を複合施設にも出入りできるように交差点とすることは、新設する分署の交差点と距離が近いので、警察の許可が出るかはわからない。（これまでの実態を踏まえると難しいのではないかと）
- ・現在のT字路部分は、将来、複合施設完成後、通常は閉鎖しているが、イベント時などは、車の流れをよくするため、左折専用で開放はありえる。

■役場と複合施設との行き来

- ・役場と複合施設は、住民の利便性、安全性及び使い勝手などを踏まえると、歩道橋のようなものは必要である。また、睦大学の生徒なども行き来することが想定されるため、雨、風、雪にさらされないよう、屋根は必要である。
- ・イベント時には、役場側、複合施設側の双方で駐車場を確保することが必要であるため、人を渡す（横断）する仕組みが必要である。
- ・歩道橋の場合、車椅子や高齢者に配慮するため、スロープやEVが必要になる。EVは役場側、複合施設側の双方で必要となるが、複合施設側の建物を役場側に寄せ、複合施設と兼用すれば、コスト低減にもなる。
- ・歩道橋、地下道については、コストの関係もあることから、平面で横断できれば管理費も少なく、一番安価ではあるが、新設される分署の交差点と距離が近く、この部分に交差点を設置することは難しいと思うが、今後の検討事項である。

■多目的広場(防災広場)

- ・複合施設については、避難所としても位置づけたいと考えており、広場については、単なる多目的広場ではなく、ヘリポートや消防訓練(80m*80m)ができるスペースを確保していきたい。また、交付金上、防火水槽や消火栓も必須であることから、整備していきたい。
- ・広場については、イベント広場としての機能はもとより、ときには、臨時的な駐車場としても利用できるように。

■駐車場

- ・駐車場は、十分な台数を確保してほしい。また、新設の交差点経由での車動線となるが、交差点までの距離をある程度確保し、少しでも車の流れを円滑にすることが必要と思う。
- ・また、イベント時には、現在の役場前T字路部分も一時的に開放するなどし、円滑な交通処理を行う工夫が必要と思う。

■建物(複合施設)と公共交通待合所

- ・複合施設への出入は一箇所ではなく、複数のところから出入りがあると思う。ただ、メインの出入り口は、必ず位置づけられると思うので、バスの待合所や体の不自由な方の乗降場など屋根つきで配慮する必要がある。

居室カルテ（全体・その他）

■所要室の必要条件の整理

施設分類	施設自体・その他に関すること	
やりたいこと、知りたいこと、利用方法・され方〔やりたい・知りたいこと、いつ、どこで、だれが、なにを、どのようにするか〕、その他反対意見など		
<p style="color: red; margin-top: 0;">土地利用計画について(前項からの続き)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>■調整池</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調整池は、当該築の開発に伴う雨水流出抑制のための施設である。よって、県大にあるように修景池として兼ねるものや、広場として兼用するものがある。 ・基本的に水を貯めることで、管理しにくくなるので、広場として活用してほしい。一部分は、修景として貯めることもありか。広場としては、傾斜を利用したスケボーパークなど他施設事例ではある。最近では、フットサルも人気があり、フットサル場などもいいのでは。 ・冬は、除雪雪捨て場として活用してもいいと思う。 </div> <div style="width: 45%;"> <p>■舗装、植栽</p> <ul style="list-style-type: none"> ・費用がかかるインターロッキング、石畳などは、基本的に止めた方がよい。基本はアスファルト舗装で構成し、歩道との区分けはカラー舗装などで分けると安価であるし、管理しやすい。 ・植栽については、必要最小限で抑えるので良いのでは。周辺は田園風景もあるし、総合公園もある。 </div> </div>		
規模・機能・仕様など	他部屋との相関関係、イメージ図	関係する部屋